

琉球列島両生爬虫類文献目録(暫定)

当山昌直★

Publications on the Herpetology of the Ryukyu Islands (Tentative List)

Masanao TOYAMA

九州の南端から台湾との間に所在する琉球列島の両生爬虫類に関しては、これまでに書かれた研究論文がたくさん存在する。しかし、両生爬虫類に関する研究はまだ遅れており今後の調査研究を待つべきところが多い。そこで、今後の調査研究に便宜をはかる目的で現在までの研究成果をまとめた文献目録を作成してみた。何分にも短期間の作業であるため充分にそろっているとはいえない。今後とも収集と整理を続け、より完全なものにしていきたい。

文献は、琉球列島産の陸棲の両生爬虫類を対象とし、特に分類及び生態を中心とする内容のものを収録した。また、便宜上、台湾産の両生爬虫類も対象に含め、更に、他の地域のものでも琉球列島の両生爬虫類に関する記述があれば収録した。なお、項目別に分けて整理したが、便宜的に分けられたものも少なくない。原著かもしくはそのコピーを入手して点検するように努めたが、孫引きにたよらざるをえない入手困難な文献もあり、その場合は表題に基づいて分類した。特に、1947年以前の文献はGans (1949) の索引を利用した。

文献目録を作製するにあたり、大阪市立自然史博物館柴田保彦氏には原稿の検討などで、特別に助けていただいた。まず厚くお礼申し上げたい。その他、深田祝博士・高良鉄夫博士・千石正一氏・宇都宮妙子氏・森田忠義氏・松井正文氏・疋田努氏には文献の情報を提供していただいた。これらの方々や、ここに名を挙げていない協力して頂いた多数の皆さんに深い感謝の意を表する。

両生爬虫類 (Herpetology)

安谷屋昭・川上勲・久貝勝盛・砂川信夫・下地恵常・下地秀男・宮国進、1977. 大神島の自然調査。

平良市の文化財：45-73. 平良市教育委員会。

Barbour, T., 1908. Some new Reptiles and Amphibians. Bull. Mus. Comp. Zool. Harvard coll., 51 (12) : 315-325.

———, 1909. Notes on amphibia and reptilia from eastern Asia. Proc. New England Zool. Club, 1909(4) : 53-78.

———, 1917. A most regrettable tangle of names. Occ. Papers, Mus. Zool. Univ. Michigan, (44) : 1-9.

Boettger, O., 1895. Neue Frösche und Schlangen von den Liu-Kiu-Inseln. Berichte und mitteilungen der Offenbacher Vereinigung der Naturkunde, 33-6 (1895) : 101-117.

———, 1895. Neue Frösche und Schlangen von den Liukiu-Inseln. Zool. Anz., 18 : 266-270.

Boulenger, G. A., 1887. On a collection of reptiles and batrachians made by Mr. H.

(★とうやま まさなお 県立博物館充指導主事)

- Pryer in the Loo Choo Islands. Proc. Zool. Soc. London, 1887 : 146-150.
- , 1892. Descriptions of new reptiles and batrachians from the Loo Choo Islands. Ann. Mag. Nat. Hist., [6] 10 : 302-304
- , 1908. Descriptions of a new frog and a new snake from Formosa. Ann. Mag. Nat. Hist., [8] 2 : 221-222.
- , 1909. Descriptions of four new frogs and new snake discovered by Mr. H. Sauter in Formosa. Ann. Mag. Nat. Hist., [8] 4 : 492-496.
- Brown, A. E., 1902. A collection of reptiles and batrachians from Borneo and the Loo Choo Islands. Proc. Ac. Nat. Sci. Philadelphia, 1902 : 175-186.
- 千木良芳範, 1977. 両生類・爬虫類. 名護市天然記念物調査シリーズ第1集, 名護市動物総合調査報告書 : 129-179. 名護市教育委員会.
- , 1978. 阿嘉・屋嘉比島及び久場島の両生・爬虫類. 沖縄県天然記念物調査シリーズ第12集, ケラマジカ実態調査報告Ⅲ : 157-162. 沖縄県教育委員会.
- 知念績一, 1963. 両生類及び爬虫類. 10周年記念誌 : 51-53. 沖縄生物教育研究会.
- 陳兼善, 1956. 台湾脊椎動物誌. 台湾開明書店, 台北. 619p.
- , 1969. 増訂再版台湾脊椎動物誌, 下冊. 台湾商務印書館, 台北. 440p.
- Darlington, Jr., P. J., 1957. Zoogeography : the geographical distribution of animals. John Wiley and Sons ; London, Chapman and Hall, New York. 675p.
- Fritze, A., 1894. Die Fauna der Liu-Kiu-Insel Okinawa. Zool. Jahrb. Syst., 7 : 852-926.
- Gans, C., 1949. A Bibliography of the Herpetology of Japan. Bull. Amer. Mus. Nat. Hist., 93(6) : 389-496.
- Hallowell, E., 1860. Report upon the Reptilia of the North Pacific exploring expedition under command of Capt. John Rogers, U.S.N. Proc. Ac. Nat. Sci. Philadelphia, 12 : 480-510.
- 長谷川善和, 1980. 琉球列島の後期更新世～完新世の脊椎動物. 第四紀研究, 18(4) : 263-267.
- ・野原朝秀, 1978. 石垣市石城山動物遺骸群集の概要. 石城山一緊急発掘調査概要 : 49-78. 沖縄県教育委員会.
- ・大塚裕之・野原朝秀, 1973. 宮古島の古脊椎動物について (琉球諸島の古脊椎動物相—そのI). 国立科博専報, (6): 39-50, pls. 6-7.
- Hatta, S., 1928. Some points on the zoogeography of Japan. Proceedings of the 3d Pan-Pacific Society Congress, Tokyo (1926) I : 1024-1038.
- 玻座眞忠直, 1933. 本県動物分布の特異性と理科教育. 沖縄教育, 201 : 37-43.
- , 1936. 本県の動物分布の特異性と興味. 沖縄教育, 244 : 23-32.
- 日野光次, 1928. 陸上動物. 行幸記念奄美大島に於ける博物調査報告書 : 1-12.
- ・森田忠義, 1964. 鹿児島県の動物. 鹿児島県の自然 : 173-193.

- 平岩馨邦・太田嘉四夫・宇田川竜男・佐藤淳夫・松井孝爾・内田照章, 1958. 奄美群島生物調査報告—特に鼠と蛇との関係を追求して. 九州大学農学部学芸雑誌, 16(4) : 525-546.
- 平良市教育委員会(編), 1979. 郷土の自然—中学理科指導資料—. 平良市教育委員会, 沖縄. 190p.
- 堀川安市, 1933. 蛇と蛙の分布の廣狹と台湾島内に於ける盛衰に就て. 台湾博物学会会報, 23 (128・129) : 376-381.
- 池原貞雄, 1973. 大東島の陸産脊椎動物. 大東島天然記念物特別調査報告 : 52-63. 文化庁.
- , 1974. 久米島の陸上脊椎動物. 沖縄自然研究会調査報告第1号, 久米島県立自然公園候補地学術調査報告 : 89-98. 沖縄県.
- , 1974. 慶良間群島の陸上脊椎動物. 沖縄海岸国定公園拡張候補地学術調査報告 : 187-199. 沖縄県.
- , 1976. 南海の秘境西表島. アニマ, 38 : 22-27.
- , 1976. 動物の分布と生態, 脊椎動物. 《生態写真集》沖縄の生物 : 111-112. 新星図書, 沖縄.
- , 1980. 東洋のガラパゴス. 木崎甲子郎(編著), 琉球の自然史 : 86-100. 築地書館, 東京.
- , 1980. 久米島における脊椎動物数種に及ぼす人間活動の影響. 琉球列島における島嶼生態系とその人為的変革, 文部省特別研究「環境科学」研究報告集B63 : 87-95.
- , 1981. 琉球列島久米島における土地利用形態の変化による脊椎動物数種の分布域の変動. 琉球列島における島嶼生態系とその人為的変革II, 文部省特別研究「環境科学」研究報告集B113 : 161-172.
- , 1981. 沖縄の自然とノグチゲラ. 汐文社, 東京. 260p.
- , 1981. 保護すべき環境と生物たち. 採集と飼育, 43(8) : 420-424.
- ・安部琢哉・知念盛俊・与那城義春・千木良芳範・日越国昭・三井興治, 1981. ケナガネズミ実態調査報告書. 沖縄県天然記念物調査シリーズ第22集 : 1-65. 沖縄県教育委員会.
- (Ikehara, S.) & H. Akamine, 1976. The ecological distribution and seasonal appearance of frogs and a snake, *Himehabu* (*Trimeresurus okinavensis* Boulenger) along the upper stream of Fuku-River in Okinawa Island. Ecol. Stud. Nat. Cons. Ryukyu Isl.-(II) : 69-80
- & S. Katsuren, 1976. Preliminary survey on the distribution of frogs along Aha-River in Okinawa Island. Ecol. Stud. Nat. Cons. Ryukyu Isl.-(II) : 81-88, pls. 1-2.
- ・大嶺哲雄・下謝名松栄・安部琢哉, 1974. 西表島と石垣島における森林陸上動物群集. 琉球列島の自然とその保護に関する基礎的研究(1) : 51-61, 1 table.
- ・下謝名松栄, 1971. 尖閣列島の陸生動物. 尖閣列島学術調査報告 : 85-140. 琉球大学.
- ・———, 1975. 沖縄の陸の動物. 風土記社, 沖縄. 143p.
- Jacobs, G., 1975. Keys to the Herpetofauna of the Eastern Hemisphere Part VII Bibliography. Smithsonian Herpetological Information Service, 29 : 1-24.
- Johnson, C. R., 1969. Herpetofauna of Okinawa, Ryukyu Islands. Herpetologica 25 (3) : 206-210.
- , 1972. Notes on the Herpetofauna of Kume-jima and O-jima, Ryukyu Islands.

Atoll Res. Bull., (162) : 7-8.

Kaburaki, T., 1926. On the fauna of Japan. *In* Scientific Japan, Past and Present, Kyoto, 5 : 105-135.

環境庁, 1979. 第2回自然環境保全基礎調査動物分布調査報告(両生類・は虫類) 鹿児島県1978. 36p.

———, 1979. 第2回自然環境保全基礎調査動物分布調査報告(両生類・は虫類) 沖縄県. 128p.

木崎甲子郎ほか, 1975. 沖縄の自然. 平凡社, 東京. 237p.

岸田久吉, 1927. まんぐーすノ食性調査成績. 農林省鳥獸調査報告, 4 : 79-120.

木場一夫, 1926. 琉球弧島のFaunaに就いて. 博物学会誌, 33 : 52-80.

———, 1927. 琉球弧島の動物相に就いて(II). 博物学会誌, 34 : 25-31.

———, 1929. 奄美大島滞島雑記. 博物学会誌, 38 : 92-94.

———, 1931. 渡瀬線とブラキストン線. 東京文理科大学「学芸」記念号 : 259-264.

———, 1954. 奄美大島の爬虫・両棲類について[講演要旨]. 動雑, 63(11・12) : 485-486.

———, 1955. 日本の爬虫・両棲類. 日本生物地理学会会報, 16-19 : 345-354.

———, 1955. 奄美大島の爬虫類及び両棲類. 熊本大学教育学部紀要, (3) : 145-162, pl.1.

———, 1956. 奄美群島の爬虫・両棲類, (I). 熊本大学教育学部紀要, (4) : 148-164, pls. 1-2.

———, 1956. 奄美群島の爬虫・両棲類について(予報)[講演要旨]. 動雑, 65(3・4) : 149.

———, 1956. 奄美大島, 徳之島の爬虫両棲類. 科学, 26(2) : 101-102.

———, 1957. 沖縄島の爬虫・両棲類について. 熊本大学教育学部紀要, (5) : 191-208, pls. 3-4.

———, 1958. 奄美群島の爬虫・両棲類(II). 熊本大学教育学部紀要, (6) : 173-185, pl.1.

———, 1959. 奄美群島の爬虫・両棲類(III). 熊本大学教育学部紀要, (7) : 187-202, pl.1.

———, 1960. 奄美群島の爬虫・両棲類(IV). 熊本大学教育学部紀要, (8) : 181-191, pl.1.

倉本満・松井孝爾・原幸治, 1974. 学研の図鑑, 爬虫・両生類. 学習研究社, 東京. 157p.

黒田長礼, 1931. 脊椎動物の分布上より見たる渡瀬線. 動雑, 53 : 172-175.

宮良健一・上原剛, 1964. 先島採集旅行報告. 琉大生物クラブ誌, 7 : 9-15.

宮城邦治, 1980. 波照間島の植生概観と動物相について. 南島文化研究所所報, 11 : 92.

———・三井興治, 1981. 慶留間島の陸上脊椎動物相. 沖縄生物学会誌, (19) : 53-56.

森田忠義, 1964. 奄美大島の動物. 鹿児島島の自然 : 303-327. 鹿児島県理科教育協会.

———, 1975. 奄美瀬戸内町の陸域の動物相—主に哺乳・鳥・爬虫・両生類について—. 南日本文化, (8) : 79-86.

———, 1976. 徳之島・伊仙町の陸生脊椎動物. 南日本文化, (9) : 125-132.

———, 1977. 名瀬市と周辺地域の動物調査—陸生脊椎動物及び淡水産魚について—. 南日本文化, (10) : 251-263.

———, 1980. 大隅諸島・屋久島の陸生脊椎動物相について. 鹿児島中央高校研究紀要, (9) : 24-45.

———, 1981. 大隅諸島・種子島の陸生脊椎動物相(予報)—両生・爬虫類について—. 鹿児島中央高校研究紀要, (10) : 47-52.

鹿児島中央高校研究紀要, (10) : 47-52.

永井亀彦, 1928. トカラハブとエラブウナギ. 鹿児島県博物調査, 3 : 3+5+64. pls. & maps,

鹿児島県教育調査会.

- , 1928. 南西諸島の動物分布. 史蹟名勝天然紀念物調査報告第四輯: 49-52. 鹿児島県.
- , 1950. 硫黄島及び竹島の特殊生物. 鹿児島国立公園候補地学術報告, 前篇: 178-182.
- , 1950. 屋久島の爬虫類・両棲類. 鹿児島国立公園候補地学術報告, 後篇: 166.
- 中村健児・上野俊一, 1963. 原色日本両生爬虫類図鑑. 保育社, 大阪. 214p.
- 中山悟・栄田恵子ほか, 1970. 辺野喜川流域における生物相の研究. 沖生教研会誌, (4): 140-159.
- 波江元吉, 1914. 薩隅の爬虫及両棲類. 動雑, 26: 330.
- 岡田信利, 1891. 日本動物総目録. 金港堂, 東京. 17+125p.
- 岡田弥一郎, 1927. 爬虫類・両生類. 日本動物図鑑: 191-253.
- (Okada, Y), 1933. On the parallelism between the distribution of lizards and of anurans in the Japanese Empire. Sci. Rep. Tokyo Bunrika Daigaku., B, 1(13): 145-153.
- , 1938. A Catalogue of vertebrates of Japan. Maruzen, Tokyo. 4+412p.
- , 1938. 沖縄島の概況. Biogeographica. 3(1): 1-64, pl.1.
- , 1940. A revision of the parallelism between the distribution of lizards and that of frogs in the Japanese Empire. Proceedings of the 6th Pacific Science Congress, Berkeley, California, 4: 219-229.
- ・木場一夫, 1928. 奄美大島動物相の紹介. 博物学会誌, 36: 33-46.
- ・———, 1931. 日本に於ける動物分布に関する考察. 動雑, 53: 320-351.
- ・———, 1935. 沖縄島及びその近接島嶼の脊椎動物目録. 沖縄博物学会会報, 1: 3-22.
- ・———, 1954. 動物地理学〔特集. 本邦動物学七十五年〕. 動雑, 63(8・9): 326-331.
- 沖縄生物教育研究会(編), 1960. 原色ポケット図鑑沖縄の生物. 沖縄生物教育研究会, 沖縄.
- 大嶺哲雄, 1980. 沖縄本島中部(中城湾沿岸を中心とする)動物相概観. 沖縄大学紀要, 1: 137-181.
- 太田英利, 1981. 波照間島の爬虫両生類相. 爬虫両棲類学雑誌, 9(2): 54-60.
- Rosenthal, H. L., 1948. Notes on some Okinawa amphibians and reptiles. Hérpetologica, 4: 97-104.
- 千石正一(編), 1979. 原色両生・爬虫類. 家の光協会, 東京. 206p.
- Shibata, Y., 1960. Amphibia and Reptilia collected from Tokara Islands. Bull. Osaka. Mus. Nat. Hist., 12: 57-62.
- (柴田保彦), 1964. 沖永良部島(奄美群島)の両生は虫類. 関西自然文化研究会研究報告, 第一集: 13-16.
- 鹿間時夫・大塚裕之, 1971. 東シナ海の陸橋. 1971年日本地質学会総会, シンポジウム資料: 131-139.
- 下謝名松栄, 1970. 動物の地理分布をどう指導したらよいか. 沖生教研会誌, (4): 38-68.
- , 1976. カラー百科シリーズ④沖縄の自然, 島の自然と鐘乳洞. 新星図書, 沖縄. 188p.
- , 1978. 南・北大東島および沖縄島南部地域の洞穴動物相. 沖縄県天然記念物調査シリーズ第14集, 沖縄県洞穴実態調査報告I: 75-111. 沖縄県教育委員会.

- , 1979. 沖縄島および周辺離島の洞穴動物. 沖縄県天然記念物調査シリーズ第16集, 沖縄県洞穴実態調査報告II: 97-153. 沖縄県教育委員会.
- , 1980. 先島(宮古諸島・八重山諸島)の洞窟動物. 沖縄県天然記念物調査シリーズ第19集, 沖縄県洞穴実態調査報告III: 103-143. 沖縄県教育委員会.
- Stejneger, L., 1898. On a collection of batrachians and reptiles from Formosa and adjacent islands. Jour. coll. Sci. Imp. Univ. Tokyo, 12(3): 215-225.
- , 1901. Diagnoses of eight new batrachians and reptiles from the Riu Kiu Archipelago, Japan. Proc. biol. Soc. Wash., 14: 189-191.
- , 1904. A new species of lizard from the Riu Kiu Archipelago, Japan. Smithsonian Misc. Coll. (Quart. Issue), 47 (2): 294-295.
- , 1907. Herpetology of Japan and adjacent territory. Bull. U. S. Nat. Mus., 58: 1-557, pls. 1-35.
- , 1910. The batrachians and reptiles of Formosa. Proc. U. S. Nat. Mus., 38(1731): 91-114.
- Sternfeld, R., 1916. Reptilien und Amphibien aus Japan und von den Riu Kiu. S.-B. Ges. naturf. Fr. Berlin, 5: 164-173.
- 高良鉄夫, 1954. 尖閣列島の動物相について. 琉球大学農学部学術報告, (1): 57-74.
- , 1969. 琉球の自然と風物—特殊動物を探る—. 琉球文教図書, 沖縄. 206p, 8pls.
- , 1972. 西表島の動物相を探る. 自然, 27(9): 72-73.
- (編), 1972. 風樹館要覧=付展示物目録=. 琉球大学農学部. 80p.
- , 1974. 南海の動物たち. 守礼之邦沖縄(上), p.62-66. 講談社, 東京.
- , 1974. 亜熱帯の動物誌. ワイドカラー旅15(沖縄): 124-125. 研秀出版社.
- , 1975. 動物. おきなわの自然: 115-121. 沖縄県.
- , 1975. 動物学. 沖縄県史5, 文化1: 945-1002. 沖縄県.
- , 1975. 沖縄の動物. 沖縄資料集成: 42-46. グリーライフ社.
- , 1977. 沖縄の特殊両生爬虫類. 沖縄県のすぐれた自然: 65-68. 沖縄県.
- , 1977. 自然との対話. 琉球新報社, 沖縄. 426p.
- ・東清二, 1970. 西表島の動物相(第1部). 琉球大学農学部学術報告, (17): 273-328.
- Thompson, J. C., 1912. Prodrome of descriptions of new species of Reptilia and Batrachia from the Far East. Herpetological Notices, San Francisco, California, (2): 1-4.
- 当間嗣元, 1940. 琉球の爬虫両生類. 月刊文化沖縄 1 (3): 13-15.
- 当山昌直, 1976. 宮古群島の両生爬虫類相(I). 爬虫両棲類学雑誌, 6 (3): 64-74.
- , 1979. 宮古群島の両生爬虫類相について〔講演要旨〕. 爬虫両棲類学雑誌, 8 (2): 67-68.
- , 1980. 粟国島の陸上脊椎動物. 県立博物館総合調査報告書I—粟国島(あぐにじま)—: 51-55. 沖縄県立博物館.
- , 1981. 渡名喜島の陸上脊椎動物. 県立博物館総合調査報告書II—渡名喜島(となきじ)

- ま) — : 49-56. 沖縄県立博物館.
- , 1981. 沖縄群島の両生爬虫類相(I). 沖縄県立博物館紀要, (7) : 1-8.
- , 1981. 宮古群島の両生爬虫類. 沖生教研会誌, (14) : 30-39.
- ・久貝勝盛, 1979. 宮古群島の両生爬虫類に関する方言—調査及び研究計画について—. 沖生教研会誌, (12) : 13-14.
- ・———・知念盛俊・下謝名松栄・中玉利澄男, 1981. 宮古群島の動物に関する文献目録(暫定). 沖生教研会誌, (14) : 75-83.
- ・———・島尻沢一, 1980. 宮古群島の両生爬虫類に関する方言. 沖生教研会誌, (13) : 17-32.
- 上野俊一, 1974. 琉球の爬虫・両生類. 自然科学と博物館, 41 (3) : 116.
- , 1974. 日本の爬虫・両生類相. 週刊世界動物百科増刊, 日本の動物 II : 47-50. 朝日新聞社, 東京.
- Uchida, T., 1969. Rat-control procedures on the Pacific island, with special reference to the efficiency of biological control agents. II. Efficiency of the Japanese wasel, *Mustla sibirca itatsi* Temminck & Schlegel, as a rat-control agent in the Ryukyus. Jour. Fac. Agr. Kyushu Univ., 15 (5) : 355-385.
- 宇田川竜男, 1959. 奄美大島の生物を採る. 科学の実験, 10(13) : 1026-1031.
- Van Denburgh, J., 1909. New and previously unrecorded species of Reptiles and Amphibians from the island of Formosa. Proc. Calif. Ac. Sci., 4th Ser., 3 : 49-56.
- , 1912. Advance diagnoses of new reptiles and amphibians from the Loo Choo Islands and Formosa. San Francisco, California : 3-8.
- , 1912. Concerning certain species of reptiles and amphibians from China, Japan, the Loo-Choo Islands, and Formosa. Proc. Calif. Ac. Sci., 4th Ser., 3 : 187-258.
- Werner, F., 1913. Neue oder seltene Reptilien und Frösche des naturhistorischen Museums in Hamburg. [Reptilien und Amphibien von Formosa (gesammelt von H. Sauter) : 45-51] Mitt. naturhist. Mus. Hamburg, 30 : 1-51.
- Zarewsky, S., 1930. A list of the batrachians and reptiles collected by P. J. Schmidt on the Riu-Kiu Islands in 1926-1927. Trans. Pac. Comm. Ac. Sci. USSR, 1 : 17-18.

両生類 (Amphibia)

- Gressitt, J. L., 1938. Some amphibians from Formosa and the Ryu Kyu Islands, with description of a new species. Proc. Biol. Soc. Washington, 51 : 159-164.
- Inger, R. F., 1947. Preliminary survey of the amphibians of the Riukiu Islands. Fieldiana : Zool., 32(5) : 295-352.
- , 1950. Distribution and speciation of the amphibians of the Riu Kiu Islands. Amer. Naturalist, 84 : 95-115.
- 川村智治郎, 1957. 両棲綱. 原色動物大図鑑, I : 325-346., 北隆館, 東京.

- 川那部浩哉・西島信昇・諸喜田茂充, 1974. 琉球列島陸水生物文献目録(暫定). 文部省科学研究費
特定研究「人間生存」, 琉球列島の自然とその保護に関する基礎的研究(1) : 255-275.
- Liu, C.-c., 1950. Amphibians of western China. Fieldiana : Zool. Mem., 2 : 1-400.
- 森田忠義, 1977. 琉球列島の両生類採集記. 鹿児島県高等学校理科部会誌, (18) : 1-7.
- 岡田弥一郎・木場一夫・知念績一(編), 1959. 両生類. 沖縄産動物目録 : 31-32. 沖縄生物教育研究会.
- 大津高, 1975. 沖縄群島の両生類. 山形大学紀要(自然科学), 8 (4) : 545-553.
- Pope, C. H., 1931. Notes on Amphibians from Fukien, Hainan, and Other Parts of China. Bull. Amer. Mus. Nat. Hist., 61(8) : 397-611, pls. 13-22.
- & A.M. Boring, 1940. A survey of Chinese Amphibia. Peking Nat. Hist. Bull., 15 (1) : 13-86, 1 map.
- 佐藤井岐雄・高島春雄, 1955. 日本の両棲概観. 山階鳥類研究所研究報告, (6) : 260-268.
- Schmidt, K. P., 1927. Notes on Chinese Amphibians. Bull. Amer. Mus. Nat. Hist., 54 : 553-575, pls. 31-32.
- 下謝名松栄, 1976. 両生類. 《生態写真集》沖縄の生物 : 158-168. 新星図書, 沖縄.
- 上原剛, 1964. 琉球の両生類について. 琉球大学生物クラブ誌, 7 : 23-32.
- 宇都宮妙子, 1961. 徳之島へ. 暮しの手帖, (62) : 167-171.
- , 1978. 南西諸島の両生類にみられる島間の変異について〔講演要旨〕. 爬虫両棲類学雑誌, 7(4) : 104.
- Vogt, T., 1911. Beitrag zur Amphibienfauna der Insel Formosa. Sitzungsberichte der Gesellschaft naturforschender Freunde zu Berlin, 3 : 179-184.
- Wilkie, J. S., 1930. Some parasitic nematodes from Japanese Amphibia. Ann. Mag. Nat. Hist., London, [10] 4 : 606-615.
- イモリ類 (Caudata)**
- 阿部本生, 1935. シリケンキモリに就いての漫話. 郷土博物時報, 2 (2) : 7-9.
- Chang, M. L. Y., 1937. Über die Rippen von *Tylotriton andersoni* Boulenger. Senckenbergiana, frankfurt am Main, 19 : 1-6.
- 千木良芳範・島袋盛和, 1980. 漠那岳におけるイボイモリの側溝への落下について. 沖縄生物学会誌, (18) : 45-49.
- Dunn, E. R., 1918. The collection of Amphibia Caudata of the Museum of Comparative Zoology. Bull. Mus. Com. Zool., 62(9) : 445-471.
- Fang, P.W. & M. L. Y. Chang, 1932. Notes on *Tylotriton kweichowensis*, sp. nov. and *asperrimus* Unterstein with synopsis to species. Sinensia, 2 (9) : 111-122.
- Gerlach, G., 1929. Über *Trit. pyrrhogaster* subsp. *ensicauda* Hallowell. Blätter Aquar.-Terrar.-Kde., 40(18) : 318-319.

- , 1933. Zur Kenntnis des *Triturus ensicauda* Hallowell, II. Über Zucht des *Triturus* (= *Triton*) *ensicauda* Hall. Blätter Aquar. —Terrar. —Kde., 44(3) : 38-40.
- Goto, S. & Y. Ozaki, 1929. Brief notes on new trematodes. I. Jap. J. Zool. 2 : 213-217.
- 市川衛, 1941. トゲキモリの卵〔講演要旨〕. 動雑, 35 : 108-109.
- 幡井勉・石橋治雄, 1973. 沖縄産イボイモリの採集・飼育と発生. 採集と飼育, 35(5) : 101-103.
- 石塚寛・五味敏昭・土屋宏正, 1976. 沖縄県本部半島のイボイモリ. 採集と飼育, 38(3) : 65-67.
- Kawamura, T., 1950. Studies on Hybridization in Amphibians. III. Reciprocal Hybrids between *Triturus pyrrhogaster*(Boie) and *Triturus ensicauda*(Hallowell). J. Sci. Hiroshima Univ., B-1, 11 : 71-79.
- & S. Swada, 1959. On the sexual isolation among different species and local races of Japanese newts. Jour. Sci. Hiroshima Univ., B-1, 18 : 17-30.
- Makino, S., 1951. Karyotype of *Tylotriton andersoni* Boul. Kromosomo, 8 : 313-314.
- 又吉盛健・大城信弘・喜友名孝子・干川裕・三井興治・熊谷英子, 1977. 沖縄島におけるイボイモリの分布について. 沖縄生物学会誌, (15) : 1-4.
- , 1978. イボイモリの産卵について. 沖縄生物学会誌, (16) : 11-16.
- 門馬栄治・牧野佐二郎, 1941. 沖縄に於けるイボキモリの採集. 植物及動物, 9 (9) : 271-273.
- 森田忠義, 1974. 北薩及び県下に産する有尾類について. 鹿児島県西部及び北部自然環境保全基本調査書 : 195-202. 鹿児島県
- , 1974. 南九州に生息するサンショウウオの研究分布ならびに生態. 鹿児島県高等学校理科部会誌, (15) : 27-39.
- Okada, Y., 1934. A contribution toward a check list of the urodeles of Japan. Copeia, 1934(1) : 16-19.
- , 1935. 日本産有尾類の分類の総括と分布. 動雑, 47 : 575-588, 1pl.
- Oyama, J. & D. Nakamura, 1939. Über Artbastarde *Triturus pyrrhogaster* (Boie) ♀ und *T. ensicauda* (Hallowell) ♂. Jap. Jour. Gene., 15(2) : 78-79.
- Pearse, A. S., 1932. Parasites of Japanese salamanders. Ecology, 13(2) : 135-152.
- 佐藤井岐雄, 1937. 両棲綱, 有尾目. 日本動物分類, 15 (3-1) : 1-74, 三省堂, 東京.
- , 1943. 日本産有尾類総説. 日本出版社, 大阪. 520p.
- (Sato, I.) 1934. On the chromosomes of *Triturus ensicauda*. Jour. Sci., Hiroshima Univ., B-1, 3(9) : 99-105, pls. 1-2.
- , 1941. 台湾の有尾類に就いて. 台湾博物学会会報, 31(210) : 114-124.
- 田子勝彌, 1931. 蝾螈と山椒魚. 芸艸堂, 京都. 210p.
- Thorn, R., 1968. Les Salamandres d'Europe d'Asie et d'Afrique du Nord Description et mœurs de toutes les espèces et sous-espèces d'Urodèles de la Région Paléarctique d'après l'état de 1967. Éditions Paul Lechevalier, Paris, 376p. 11maps, 16pls.

- 宇都宮妙子, 1973. 生きた化石イボイモリを求めて, 週刊世界動物百科, 144 : 3-5.
- , 1973. イボイモリ *Tylototriton andersoni* の産卵および発生について〔講演要旨〕. 動雑, 82 : 231.
- , 1974. 野外におけるイボイモリの産卵について〔講演要旨〕. 動雑, 83(4) : 325.
- , 1975. 徳之島におけるイボイモリの分布について〔講演要旨〕. 動雑, 84(4) : 466.
- , 1979. 徳之島におけるイボイモリの分布と方言名について. 両生爬虫類研究会誌, (13) : 19-21.
- ・宇都宮泰明・又吉盛健, 1979. 南西諸島におけるイボイモリの分布について〔講演要旨〕. 動雑, 88 : 662.
- 宇都宮泰明・宇都宮妙子, 1977. イボイモリ (*Tylototriton andersoni*) の発生. 広島大学水畜産学部紀要, 16(1) : 65-76.
- (Utsunomiya, Y.), (T. Utsunomiya) & S. Kawachi, 1978. Some Ecological Observation of *Tylototriton andersoni*, Terrestrial Salamander Occurring in the Tokunoshima Island. Proc. Japan Acad., 54, Ser. B, 7 : 341-346.
- Wolterstorff, W., 1925. Katalog der Amphibiensammlung im Museum für Natur- und Heimatkunde zu Magdeburg. Abh. Ber. Mus. Naturk. Vorgesch. Magdeburg. 4(1) : 231-310
- , 1929. Über *Tylotriton andersoni* Blgr. Blätter Aquar.-Terrar.-Kde., 40(6) : 96-97.
- , 1929. Bemerkungen zu Gerlach, über *Triton pyrrhogaster* subsp. *ensicauda* Hallowell. Blätter Aquar.-Terrar.-Kde., 40(18) : 319.
- , 1933. Zur Kenntnis des *Triturus ensicauda* Hallowell. I. Über *Triturus* (= *Triton*) *ensicauda* Hallowell. Blätter Aquar.-Terrar.-Kde., 44(3) : 35-38.
- , 1933. Zur Kenntnis des *Triturus ensicauda* Hallowell. III. Bemerkungen zu Gerlach : Zucht des *Triturus* (= *Triton*) *ensicauda* Hallowell. Blätter Aquar.-Terrar.-Kde., 44(3) : 40-41.
- Yano, K., 1926. Zur Morphologie des Skleralknorpels und-knochens bei den Urodelen. Folia Anatomica Japonica, later Okajima's Folia Anatomica Japonica, Tokyo, 4(2) : 57-74.

カエル類 (Salientia)

- Annandale, N, 1917. Zoological results a tour in the Far East. Batrachia. Mem. Asiat. Soc. Bengal, 6 : 121-156.
- Boulenger, G. A., 1882. Catalogue of the Batrachia salientia S. Ecaudata in the collection of the British Museum. Brit. Mus., London, 2d edition, 503p.
- , 1886. First report on additions to batrachian collection in the Natural History

- Museum. Proc. Zool. Soc. London, 1886 : 411-416.
- , 1920. A monograph of the South Asian, Papuan, Melanesian and Australian frogs of the genus *Rana*. Rec. Indian Mus., 20 : 1-226.
- 千木良芳範, 1979. ホルストガエル. 環境庁第2 回自然環境保全基礎調査動物分布調査報告書 (両生類・は虫類) 全国版1978, : 24-27.
- 平嶺宏紀, 1979. アマミオガエルの産卵について. 両生爬虫類研究会誌, (13) : 35-36.
- 廣瀬巨海, 1929. 珍蛙石川蛙の死ぬまで. アミーバ, 1 (1) : 44-48.
- 市川衛, 1951. 蛙学. 裳華房, 東京, 239p.
- 勝連盛輝, 1979. 沖縄のカエル. 動物と自然, 9 (6) : 18-21.
- (Katsuren, S.,) S. Tanaka & S. Ikehara, 1977. A brief observation on the breeding site and eggs of a frog, *Rana ishikawae* [Stejneger] in Okinawa Island. Ecol. Stud. Nat. Cons. Ryukyu Isl. -(III) : 49-54.
- Kawamura, T. & M. Nishioka, 1977. Aspects of Reproductive Biology of Japanese Anurans. The Reproductive Biology of Amphibians: 103-139., in D.H. Taylor & S.I. Guttman (ed.).
- Kuramoto, M., 1965. A Record of *Rhacophorus leucomystax* from the Ryukyu Islands. Bull. Fukuoka Gakuge. Univ. 15(III) : 59-61.
- , 1967. Studies on *Rana limnocharis* Boie I. Population-hybrids and embryonic temperature tolerances. Bull. Fukuoka Univ. Educ., 17(III) : 103-110.
- , 1968. Studies on *Rana limnocharis* Boie. II. Geographic variation in external characters. Bull. Fukuoka Univ. Educ., 18(III) : 109-119.
- , 1971. Studies on *Rana limoncharis* Boie IV. Karyotypic differentiation of sub species. Bull. Fukuoka Univ. Educ., 20(III) : 105-111.
- , 1972. Karyotypes of the six species of frogs (genus *Rana*) endemic to the Ryukyu Islands. Caryologia, 25 (4) : 547-559.
- , 1973. The Amphibians of Iriomote of the Ryukyu Islands : Ecological and Zoogeographical Notes. Bull. Fukuoka Univ. Educ., 22 (III) : 139-151.
- , 1974. Experimental Hybridization between the Brown Frogs of Taiwan, the Ryukyu Islands and Japan. Copeia, 1974 (4) : 815-822.
- (倉本満), 1974. カエル類の交雑実験. 爬虫両棲類学雑誌, 5 (4) : 85-90.
- , 1974. カエルの鳴き声. 遺伝, 28 (4) : 32-39.
- , 1975. Embryonic Temperature Adaptation in Development Rate of Frogs. Physiological Zoology 48 (4) : 360-366.
- , 1975. Adaptive significance in oxygen consumption of frog embryos in relation to the environmental temperatures. Comp. Biochem. Physiol., 1975, 52 A : 59-62.

- , 1975. Mating Calls of Japanese Tree Frogs (Rhacophoridae). Bull. Fukuoka Univ. Educ., 24 (III) : 67-77.
- , 1977. Mating Calls of the Frog, *Microhyla ornata*, from the Ryukyu Islands. Bull. Fukuoka Univ. Educ., 26 (III) : 91-93.
- , 1977. A comparative study of karyotypes in the tree frogs (Family Rhacophoridae) from Japan and Taiwan. Caryologia, 30 (3) : 333-342.
- , 1978. 台湾と琉球諸島のカエル類における鳴声の種特異性〔講演要旨〕, 動雑 87 (4) : 538.
- , 1979. Interspecific Hybridization between Brown Frogs, *Rana okinavana* Female and *Rana chensinensis* Male. Bull. Fukuoka Univ. Educ., 28 (III) : 45-48.
- , 1979. ナミエガエル. 環境庁第2回自然環境保全基礎調査動物分布調査報告書(両生類・は虫類)全国版1978 : 14-16.
- , 1979. イシカワガエル. 環境庁第2回自然環境保全基礎調査動物分布調査報告書(両生類・は虫類)全国版1978 : 17-20.
- , 1979. オットンガエル. 環境庁第2回自然環境保全基礎調査動物分布調査報告書(両生類・は虫類)全国版1978 : 21-23.
- , 1979. 琉球諸島のカエル類の分布と隔離. 爬虫両棲類学雑誌, 8 (1) : 8-21.
- ・古谷英三・竹上政夫・矢野啓子, 1974. 日本・台湾のカエル数種の核型. 福岡教育大学紀要, 23 理科編: 67-78.
- ・宇都宮妙子, 1981. 台湾産アオガエル類 2 種の鳴き声および鳴き声からみた琉球諸島の種との関係. 爬虫両棲類学雑誌, 9 (1) : 1-6.
- 刘承釗・胡淑琴, 1961. 中国无尾兩栖類. 科学出版社, 北京, 364p, 6 + 28pls.
- 前田憲努, 1977. 奄美大島にカエルを訪ねて. 両生爬虫類研究会誌, (8) : 25-27.
- 松井正文, 1974. 宮古島産ヒキガエルの変異〔講演要旨〕, 爬虫両棲類学雑誌, 5 (3) : 68.
- , 1975. 南大東島から記録されたオオヒキガエルについて. 爬虫両棲類学雑誌, 6 (2) : 43-47.
- , 1975. ヒキガエル *Bufo bufo* の亜種間交雑〔講演要旨〕, 動雑, 84 (4) : 449.
- (Matsui M.), 1976. Experimental Hybridization between Toads from Kyoto and Toads from Miyako Is. and France. Jap. Jour. Herp., 6 (3) : 80-92.
- ・1979. 日本のヒキガエル. 動物と自然, 9 (6) : 13-17.
- 松井孝雨, 1976. カエルの世界. 平凡社, 東京, 144p.
- , 1979. 日本産カエルの分類に関する諸問題. 動物と自然, 9 (6) : 2-7.
- Nakatani, T. & Y. Okada, 1966. *Rana tagoi yakushimensis* n. subsp. from Yakushima, Kagoshima Prefecture, Japan. Acta Herpet. Jap. 1 (4) : 64-66, pl. 1.
- 波江元吉, 1896. アマカヘル雨蛤に就いて, 動雑, 8 : 264-266.
- Noble, G. K., 1920. A note on *Babina*, the daggerfrog. Copeia, 76 : 16-18.

- 野莉家宏・長谷川善和, 1979. 日本産蛙類の骨学的研究. 伊江村文化財調査報告書第8集, 伊江島ナガラ原西貝塚緊急発掘調査報告: 275-311. 伊江村教育委員会.
- 岡田弥一郎, 1924. 沖縄の蛙. 動雑, 36(426): 202-203.
- (Okada, Y.), 1927. A study on the distribution of tailless batrachians of Japan. Annot. Zool. Japon., 11 (2): 137-144.
- , 1928. Notes on Japanese frogs. Annot. Zool. Japon, 11 (4): 269-277.
- , 1929. 沖縄本島に珍らしいイシカハガヘル. アメーバ, 1: 43-44.
- , 1930. 日本産蛙総説. 岩波書店, 東京. 2+6+234p. 29pls.
- , 1931. The tailless batrachians of the Japanese Empire. Imp. Agric. Exper. stat., 2+2+215p. 29pls.
- , 1934. The anuran fauna of Formosa. Copeia, 1934 (1): 19-20.
- , 1938. The oecological studies of the frogs with special reference to their feeding habit. Journal of the Imperial Agricultural Experiment Station, 3 (2): 275-350. pls. 29-50.
- , 1966. Fauna Japonica: Anura (Amphibia). Biogeogr. Soc. Japan, Tokyo. 12+234p.
- ・河野卯三郎, 1922. 本邦産蛙について ——・東京帝国大学動物学教室所蔵の蛙標本目録. 動雑, 34: 655-665.
- ・———, 1923. 日本領土産アカハヘル近似種の分類及び分布に就ての考察(本邦産蛙に就て二). 動雑, 35(417-422): 361-380, pl. 8.
- ・T. Matsui, 1964. *Rhacophorus iriomotensis* n. sp. A new species of *Rhacophorus* from Iriomote, Ryukyu Islands. Act. Herp. Japon, 1 (1): 1-2.
- Parker, H. W., 1934. A Monograph of the Frogs of the Family Microhylidae. Brit. Mus., London, 8+208p.
- Procter, J. B., 1920. On the type specimen of *Rana holsti* Boulenger. Proc. Zool. Soc. London, 1920: 421-422.
- 坂口総一郎, 1924. 沖縄に於ける食用蛙. 動雑, 36: 112-113.
- 柴田保彦, 1979. シロアゴガエルが奄美大島に産するという記録について. 両生爬虫類研究会誌, (14): 10.
- Thompson, J. C., 1912. Prodrôme of a description of a new genus of Ranidae from the Loo Choo Islands. Herpetological Notices, San Francisco, California, 1: 1-3.
- 上田博晤, 1979. アイフィンガーガエルの幼生の食性〔講演要旨〕. 動雑, 88 (4): 660.
- 宇都宮妙子, 1977. 沖縄源河産のシロアゴガエルについて〔講演要旨〕. 爬虫両棲類学雑誌, 7 (2): 45.
- , 1979. カエルを食べる話. 両生爬虫類研究会誌, (13): 37-38.
- , 1980. 奄美大島のイシカワガエルの繁殖. 両生爬虫類研究会誌, (17): 17-18.

- , 1980. 南西諸島のカエル. 採集と飼育, 42 (3) : 136-139
- , 1980. 台湾産カエルの幼生について〔講演要旨〕. 爬虫両棲類学雑誌, 8 (4) : 134.
- , 1981. ホルストガエルとオットンガエルの産卵について. 爬虫両棲類学雑誌, 9 (2) : 70-71.
- ・勝連盛輝・宇都宮泰明, 1980. イシカワガエルの生態. 採集と飼育, 42 (6) : 323-325.
- ・宇都宮泰明・勝連盛輝・赤嶺博行・当山昌直, 1977. 与那覇岳における大形のカエルの繁殖について. 動雑, 86(4) : 523.
- ・大河内勇・千宏燦, 1981. 台湾の両生類採集記. 両生爬虫類研究会誌, (21) : 21-29.
- 宇都宮泰明・宇都宮妙子・勝連盛輝, 1978. イシカワガエルについて〔講演要旨〕. 動雑, 87 (4) : 528.
- (Utsunomiya, Y.), (T. Utsunomiya) & (S. Katsuren), 1979. Some Ecological Observations of *Rana ishikawae*, a Rare Frog Endemic to the Ryukyu Islands. Proc. Japan Acad., 54, Ser. B (7) : 233-237.
- Van Denburgh, J., 1920. Mr. Boulenger on the genus *Babina*. Copeia, 79 : 14-16.
- Wolf, S., 1936. Revision der Untergattung *Rhacophorus* (ausschliesslich der Madagaskar-Formen.) Bulletin of the Raffles Museum, 12 : 137-217.
- 屋代弘孝, 1938. ミヤコヒキガエル *Bufo bufo miyakoensis* OKADA. の食性並に其の沖縄島移入経過. 植物及動物, 6 (6) : 1127-1130.

爬虫類 (Reptilia)

- Brown, W. C., 1956. The distribution of terrestrial reptiles in the islands of the Pacific basin. Proc. 8th pac. Sci. Congr. 3A : 1479-1491.
- Fitch, H. S., 1970. Reproductive Cycles of Lizards and Snakes. Univ. Kansas Publ. Mus. Nat., 52 : 1-247.
- Fukada, H., 1965. Breeding habits of some Japanese reptiles (critical review). Bull. Kyoto Gakugei Univ., Ser. B, (27) : 65-82.
- ゴリス, リチャード, 1966. 日本の爬虫類. 東京. 127p.
- 池原貞雄・安部琢哉・城間侔, 1978. 尖閣列島・南小島を訪ねて. 沖縄生物学会誌, (16) : 39-44.
- 木場一夫・岡田弥一郎・知念績一(編), 1959. 爬虫綱. 沖縄産動物目録: 26-30. 沖縄生物教育研究会
- 黒岩恒, 1893. 球陽雜譚(第二稿). 動雑, 5 : 42-45.
- , 1913. 博物学上より見たる琉球. 台湾博物学会会報, 3 (12) : 121-128.
- Loveridge, A., 1946. Reptiles of the Pacific World. New York MacMillan Co. 259p.
- Makino, S. & E. Momma, 1949. An idiogram study of the chromosome in some species of reptiles. Cytologia, 15 : 96-108.
- (牧野佐二郎・門馬栄治), 1949. 爬虫類10種の核型調査(予報). 遺伝学雑誌, 別巻, 2 : 49-56.
- Mertens, R., 1934. Die Insel Reptilien, ihre Ausbreitung, Variation und Arvildung.

- Zoologica, Stuttgart, 32 [6] (84) : 1-206.
- 門馬栄治, 1948. 爬虫類数種の染色体数, 動雑, 58 (1・2) : 8-10.
- 森田忠義, 1979. 南西諸島の奄美大島で捕獲されたワニに関する報告. 鹿児島中央研究紀要, (8) : 24-30.
- 永井亀彦, 1927. 爬虫類, 鹿児島県博物調査, 1 : 55-66, pl.
- 中村健児, 1947. 爬虫綱, 原色動物大図鑑, I : 283-296, 北隆館, 東京.
- 岡田弥一郎, 1931. 爬虫類, 岩波講座, 生物学〔動物学〕, 61p.
- ・高桑良興, 1932. 爬虫類の生態と進化, 養賢堂, 東京. 5+282p. 10pls.
- 大島廣, 1935. 八重山の動物(6). 植物及動物, 3 : 1141-1156.
- Pope, C. H., 1935. The Reptiles of China. Turtles, Crocodilians, Snakes, Lizards. Nat. Hist. Central Asia, 10. Amer. Mus. Nat. Hist., New York. 604p.
- Rooij, N. de, 1915. The Reptiles of the Indo-Australian Archipelago. I. Lacertilia, Chelonia, Emydosauria. E. J. Brill, Leiden. 384p.
- Romer, A. S., 1956. Osteology of the Reptiles. Univ. Chicago Press, Chicago. 772p.
- 琉球大学ワンダーフォーゲル部, 1972. 南海の秘境西表島, 琉球大学ワンダーフォーゲル部, 沖縄 177p.
- Schenkel, E., 1902. Achter Nachtrag zum Katalog der herpetologischen Sammlung des Basler Museums. Verhandlungen der naturforschenden Gesellschaft in Basel, 13 (1) : 142-199.
- Schmidt, K. P., 1927. The Reptiles of Hainan. Bull. Amer. Mus. Nat. Hist, 54 : 395-465.
- 下謝名松栄, 1976. 爬虫類, 《生態写真集》沖縄の生物: 143-157. 新星図書, 沖縄.
- Slater, J. A., 1946. Bionomic notes on some reptiles from Okinawa Shima, Ryukyu Islands, Japan. Ann. Mag. nat Hist., [11], 13 : 113-116.
- 高良鉄夫, 1975. 奄美・琉球の生物(6) —爬虫類—, 遺伝, 29 (12) : 53-59.
- 高島春雄, 1958. 日本の爬虫類概観, 山階鳥類研究所研究報告, (12) : 486-493.
- Thompson, J. C., 1912. On reptiles new to the island arcs of Asia. Herpetological Notices, San Francisco, California, 3 : 1-5.
- 上野俊一, 1965. 爬虫綱, 新日本動物図鑑, 下 : 531-548. 北隆館, 東京.
- Wang, C. S., 1962. The reptiles of Botel-Tobago. Quart. Jour. Taiwan Mus., 15 : 142-191.
- & Y. M. Wang, 1956. The reptile of Taiwan. Quart. Jour. Taiwan Mus. 9 : 1-86.
- Werner, F., 1904. Über Reptilien und Batrachier aus Guatemala und China in der zoologischen Staats-Sammlung in München. Abhandlungen der königlichen bayerischen Akademie der Wissenschaften, München, [2] 22 (2) : 341-384.

———, 1909. Über neue oder seltene Reptilien des naturhistorischen Museums in Hamburg. I. Schlangen. Mitteilungen aus dem naturhistorischen Museum in Hamburg, 26 : 205-247.

トカゲ類 (Lacertilia)

青田重忠, 1940. キノボリトカゲ (*Japara sp.*)の産卵習性. 台湾博物学会会報, 30 (205) : 402-405.

Boettger, O., 1888. Aufzählung einiger neu erworbener Reptilien und Batrachier aus Ost-Asien. II. Vorträge und Abhandlungen Berichte über die Senckenbergischen Naturforschende Gesellschaft, Frankfurt am Main, 1888 : 187-190.

———, 1893. Katalog der Reptilien-Sammlung im Museum der Senckenbergische Naturforschenden Gesellschaft in Frankfurt am Main. I. Teil (Rhynchocephalen, Schildroten, Krokodile, Eidechsen, Chamäleons). Frankfurt a. M. : 1-140.

Boulenger, G. A., 1885. Catalogue of the lizards in the British Museum (Natural History). Brit. Mus., 2d edition, London, 1 : 1-436.

———, 1887. Catalogue of the lizards in the British Museum (Natural History). 2d edition. London, III : 1-575.

———, 1917. A revision of the lizards of the genus *Tachydromus*. Mem. Asiat. Soc. Bengal, 5 (5) : 207-235.

———, 1921. Monograph of the Lacertidae. London, II : 1-451.

土居寛暢・上田常一, 1937. 西朝鮮産蜥蜴の1新種に就て. 動雜, 49 (6) : 211-215.

Fitch, H. S., 1954. Life history and ecology of the five-lined skink, *Eumeces fasciatus*. Univ. Kansas Publ. Mus. Nat. Hist., 8 : 1-156.

Greer, A. E., 1970. A subfamilial classification of scincid lizard. Bull. Mus. Comp. Zool., 139 (3) : 151-183.

———, 1974. The generic relationships of the scincid lizard genus *Leiopisma* and its relatives. Aust. J. Zool., 31 : 1-67.

Gressitt, J. L., 1936. New reptiles from Formosa and Hainan. Proc. Bio. Soc. Washington, 1936 : 117-122.

Gunther, A. C. G., 1864. The reptiles of British India. London, the Ray Society : 1-443.

———, 1888. On a collection of reptiles from China. Ann. Mag. Nat. Hist. London, [6] 1 : 165-172.

原幸治, 1978. リュウキュウキノボリトカゲの産卵数と孵化. 両生爬虫類研究会誌, (10) : 9.

正田努, 1978. 東アジア産トカゲ属の分布と系統の諸問題. 植物分類, 地理 24, (1-5) : 144-148.

———, 1980. 台湾産アオスジトカゲの変異〔講演要旨〕. 爬虫両棲類学雑誌, 8 (4) : 135-136.

———, 1981. イシガキトカゲの変異について〔講演要旨〕. 爬虫両棲類学雑誌, 9 (2) : 66.

- Kluge, A. G., 1967. Higher taxonomic categories of gekkonid lizards and their evolution. Bull. Amer. Mus. Nat. Hist., 135 : 1-59.
- 黒岩恒, 1895. 蜥蜴類に就て. 動雑, 7 : 39-41.
- Liang, Y.S. & C.S. Wang, 1975. The lizards found Taipei Hsien, Taiwan. Quar. Jour. Taiwan Mus., 28 : 431-482.
- Liu Yu, M., 1970. Studies on Taiwan lizards. Biol. Bull. Taiwan Norm. Univ, 5 : 51-93.
- 牧茂市郎, 1923. 台湾産守居宮に就て. 動雑, 35 (415) : 193-203, pls. 5-6.
- Maki, M., 1930. A new banded gecko, *Eublepharis orientalis*, sp. nov. from Riu Kyu. Annot. Zool. Japon., 13 (1) : 9-11.
- 松井孝爾, 1973. ヤクヤモリの生態〔講演要旨〕. 爬虫両棲類学雑誌, 5 (2) : 27-28.
- , 1974. アオカナヘビの久米島型地方変異〔講演要旨〕. 爬虫両棲類学雑誌, 5 (3) : 67-68.
- , 1976. 日本産ヤモリ属の分類学的研究〔講演要旨〕. 爬虫両棲類学雑誌, 6 (4) : 113.
- (Matsui, T.) & Y. Okada, 1968. A new species of *Gekko* found in Yakushima, one of the small island south of Kyushu. Acta Herpet. Jap. 3 (1) : 1-4.
- ・鈴木博, 1981. トカラ列島産トカゲ類の採集記録(1)〔講演要旨〕. 爬虫両棲類学雑誌, 9 (2) : 66-67.
- 松本邦夫, 1941. キノボリトカゲの外形的性徴に就て. 動雑, 53 (3) : 143-146.
- Mittleman, M. B., 1952. A generic synopsis of the lizards of the subfamily Lygosominae. Smithson. Misc. Collect. 117 : 1-35.
- Nakamura, K., 1931. Preliminary notes on reptilian chromosomes. III. The Chromosomes of some lizards. Proc. Imp. Acad. Japan, Tokyo, 7 (1) : 26-28.
- , 1932. Studies on reptilian chromosomes. 3. Chromosomes of some gekkos. Cytologia, 3 (2) : 156-168.
- & S. Ueno, 1959. The Geckos found in the Limestone Caves of the Ryu-Kyu Islands. Mem. Coll. Sci. Univ. Kyoto, (B), 26 (1) : 45-52, pl. 1.
- 波江元吉, 1905. 八重山群島産カナヘビ属の新種紹介. 動雑, 17 : 171-172.
- , 1912. 沖縄産守居宮類に就て. 動雑, 24 (286) : 442-445, pl. 6.
- 落合盛吉, 1937. ヤモリ *Gekko japonicus* Duméril et Bignon の発生及び生態学的研究(第1報). 動雑, 49 : 94-96.
- Oguma, K. & S. Makino, 1932. A revised check-list of the chromosome numbers in Vertebrata. Journal of Genetics, London and Edinburgh, 26 (2) : 239-254.
- ・———, 1937. A new list of the chromosome numbers in vertebrata (March 1937). Jour. Facul. Sci. Hokkaido Imp. Univ. Ser. 6, 5 (4) : 297-356.
- Okada, Y., 1935. On the distribution and habits of *Eublepharis orientalis* Maki. Proc. Imp. Ac. Japan, 11 (9) : 392-394.

- , 1936. The Geographical Distribution of Gekkonidae in Japan. Biog. Soc. Japan, 6 (9) : 71-73
- , 1936. A new cave-gecko, *Gymnodactylus yamashinae* from Kumejima, Okinawa group. Proc. Imp. Ac. Japan, 12 (2) : 53-54.
- , 1936. Studies on the lizards of Japan. Contribution I. Gekkonidae. Sci. Rep. Tokyo Bunrika Daigaku, B, 2 (42) : 233-289, pls. 15-19.
- , 1937. Studies on the lizards of Japan. Contribution II. Agamidae. Sci. Rep. Tokyo Bunrika Daigaku, B, 3 : (51) : 83-94. pls. 12-14.
- , 1939. Studies on the lizards of Japan. Contribution III. Scincidae. Sci. Rep. Tokyo Bunrika Daigaku, B, 4 (73) : 159-214, pls. 15-17.
- ・松井孝爾, 1965. 屋久島産新種のヤモリについて〔講演要旨〕. 爬虫類学雑誌, 1 (3) : 56.
- Oshima, M., 1912. Description of a new gecko from Botel Tobago Island. Philippine Jour. Sci. Manila, 7 (4) : 241-242.
- 千石正一, 1976. 西表島のホオグロヤモリの生態に関する小観察. 両生爬虫類愛好会誌, (4) : 5.
- 柴田保彦, 1965. タシロヤモリの奄美大島からの記録. 大阪市立自然科学博物館研究報告, (18) : 1-2.
- , 1975. 岸和田の阪南港でみつかったミヤコトカゲ. Nature Study, (21), 3 : 36.
- , 1979. ヤモリ. 教育大阪, 336 : 28-29.
- , 1981. 種子島のヤクヤモリ. 自然史研究, 1 (15) : 149-154.
- ・窪田正寛・石村貢, 1972. オガサワラヤモリの沖縄本島・与那国島からの記録. 爬虫両棲類学雑誌, 5 (1) : 11-12.
- Smith, M. A., 1935. Reptilia and Amphibia. II. -Sauria. In the Fauna of British India, including Ceylon and Burma. Taylor & Francis, London. 440p, 2maps, 1pl.
- , 1937. A review of the genus *Lygosoma* (Scincidae : Reptilia) and its allies. Rec. Ind. Mus., 39 : 213-234.
- 高良鉄夫, 1954. クロイワヤモリ *Gymnodactylus albofasciatus kuroiwa* Namiye について. 琉球大学農学部学術報告書, (1) : 90-92.
- , 1979. クロイワトカゲモドキ. 環境庁第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(両生類・は虫類)全国版1978 : 118-120.
- , 1979. マダラトカゲモドキ. 環境庁第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(両生類・は虫類)全国版1978 : 121-123
- , 1979. オビトカゲモドキ. 環境庁第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(両生類・は虫類)全国版1978 : 124-126.
- Tanaka, S. & M. Nishihira, 1981. Notes on an Agamid Lizard, *Japalura polygonata*. Biol. Mag. Okinawa, (19) : 33-39.
- Taylor, E. H., 1936. A taxonomic study of the cosmopolitan scincoid lizards of the genus

- Eumeces* with an account of the distribution and relationships of its species. Sci. Bull. Univ. Kansas, 23 : 1-643.
- Tokura, Y., 1933. Histological studies on the Dermal Functions, with Special Reference to the Changes of the colour of *Gekko japonicus* (Duméril et Bibron). Jour. Sci. Hiroshima Univ., B-1, 7 : 105-127.
- 当山昌直, 1974. 琉球列島における *Eumeces* の地理的分布(予報)[講演要旨]. 爬虫両棲類学雑誌, 5 (3) : 69.
- , 1975. オキナワトカゲとオオシマトカゲとの鑑別点について[講演要旨]. 動雑, 84 : 450.
- , 1975. オキナワトカゲの外部形態[講演要旨]. 爬虫両棲類学雑誌, 6 (1) : 13-14.
- , 1975. オオシマトカゲの卵から取出した胚について. 爬虫両棲類学雑誌, 6 (2) : 39-42.
- , 1975. イシガキトカゲの白縦線について[講演要旨]. 爬虫両棲類学雑誌, 6 (2) : 53-54.
- , 1975. オオシマトカゲが吐き出したアオカナヘビについて. 両生爬虫類愛好会誌, (3) : 5.
- , 1976. 繁殖期のキシノウエトカゲの野外観察. 両生爬虫類愛好会誌, (4) : 7-9.
- , 1976. 春のオキナワトカゲの観察. 両生爬虫類愛好会誌, (5) : 11-12.
- , 1976. ミヤコトカゲの生息の確認. 沖縄生物学会誌, (14) : 61-66.
- , 1977. オキナワトカゲとオオシマトカゲにみられる外部形態の地理的変異[講演要旨]. 爬虫両棲類学雑誌, 7 (2) : 39-40.
- , 1981. トカゲモドキ. 地域と文化, 9 : 129. ひるぎ社, 沖縄.
- ・正田努, 1976. トカゲ類の交尾写真三例. 両生爬虫類愛好会誌, (4) : 13-14.
- ・前田敦・小浜継雄, 1973. 沖縄本島のバーバートカゲについて. 琉球大学生物クラブ誌, 12 (1) : 1-8.
- 上野俊一, 1964. 沖永良部島の洞窟動物. 愛媛大トカラ奄美総報, 1 : 1-2.
- Underwood, G., 1954. On the classification and evolution of geckos. Proc. Zool. Soc. London, 124. 469-492.
- 宇都宮妙子, 1977. オビトカゲモドキについて. 両生爬虫類研究会誌, 7 : 11-13.
- 屋代弘孝, 1931. 「ほうぐろやもり」 *Hemidactylus frenatus* Dumeril et Bibron の観察. アミーバ, 3 (3) : 51-53.
- 吉永虎馬, 1893. 沖縄ヤモリ. 動雑, 5 (53) : 112.

ヘビ類 (Ophidia)

- 青田重忠, 1938. メクラヘビの動物地理的分布. 広島博物学会報, 6 : 32-38.
- , 1940. 東洋及び西洋のメクラヘビ一覧, 特に共通種の分布に関する一考察. 広島博物学会報, 7 : 39-43.
- Aota, S. 1940. A histological study on the integument of a blind snake, *Typhlops braminus* (Daudin), with special reference to the sense organ and nerve ends.

- Jour. Sci. Hiroshima Univ., B-1, 10 : 193-208.
- , 1941. メクラヘビ(*Typhlops braminus*)の頭骨について. 台湾博物学会会報, 31 : 175-181.
- Boettger, O., 1898. Katalog der Reptilien-Sammlung im Museum der Senckenbergischen Naturforschenden Gesellschaft am Main. II. Teil (Schlangen). Frankfurt a. M. : 1-160.
- Boulenger, G. A., 1893. Catalogue of the snakes in the British Museum (Natural History). Brit. Mus., London, I : 1-448.
- , 1894. Catalogue of the snakes in the British Museum (Natural History). Brit. Mus., London, II : 1-380.
- , 1896. Catalogue of the snakes in the British Museum (Natural History). Brit. Mus., London, III : 1-727.
- ゴリス, リチャード, 1981. アカマタの繁殖〔講演要旨〕. 爬虫両棲類学雑誌, 9 (2) : 62-63.
- Gunther, A. C. G., 1868. Sixth account of new species of snakes in the collection of the British Museum. Ann. Mag. Nat. Hist. London, [4] 1 : 413-429.
- 浜田徳治, 1917. 鹿児島県のメクラヘビ. 動雑, 29 : 343.
- Hilgendorf, F., 1876. Die japanischen Schlangen. Mitteilungen der deutschen Gesellschaft für Natur-und Völkerkunde Ost-Asiens, Tokyo 1 (10) : 29-34.
- 堀川安市, 1941. 台湾の蛇. コタヒラ製作所, 台北. 77p.
- Inger, R. F. & H. Marx, 1965. The Systematics and Evolution of the Oriental Colubrid Snakes of the Genus *Calamaria*. Fieldiana Zool., 49 : 1-304.
- 木場一夫, 1973. 東南アジアの毒蛇類. The Snake, 5 : 77-115.
- ・菊川大東・福田恒雄・田中和弘, 1977. 南西諸島産 *Calliophis japonicus* の分類. 銀杏学園紀要, (2) : 7-30.
- 黒岩恒, 1909. 琉球列島の陸蛇類. 動雑, 21 : 84-88.
- Leviton, A. E., 1968. The venomous terrestrial snake of East Asia, India, Malaya, and Indonesia. Bücherl, Buckley and Deulofeu : Venomous animals and their Venoms, New York, 1 : 529-576.
- 牧茂市郎, 1931. 日本蛇類図譜, 分類学的研究. 第一書房, 東京. 57p.
- , 1931. 原色版日本蛇類図説. 第一書房, 東京. 248p.
- (Maki, M.), 1931. A Monograph of the Snakes of Japan. Dai-ichi Shobo, Tokyo, 240p.
- , 1934. *Amblycephalus* の分布及びその1新種. 動雑, 46 : 111.
- , 1935. A new poisonous snake (*Calliophis iwasakii*) from Loo-Choo. Trans. nat. Hist. Soc. Formosa, 25 (142) : 216-219.
- , 1936. 高千穂蛇属 Genus *Achalinus* Peters に就いて. 広島博物学会報, 3 : 1-5.
- , 1937. A new subspecies, *Amblycephalus formosensis iwasakii*, Belonging to Amblycephalidae from Ishigaki-jima. Trans. nat. Hist. Soc. Formosa, 27 : 217-218.

- Malnate, E. V., 1960. Systematic division and evolution of the colubrid snake genus *Natrix*, with comments on the subfamily Natricinae. Proc. Ac. Nat. Sci., Philadelphia, 112 (3) : 41-71.
- , 1963. A New Race of *Ampheisma pryori* (Serpentes Natricinae) from the Southern Riukiu Island of Miyako-shima. Naturae of AC. Nat. Sci. Philadelphia, 360 : 1-6.
- & H. E. Munsterman, 1960. Interpopulation variation in the colubrid snake *Natrix pryori* from the Riukiu Islands, with description of a new subspecies. Proc. Calif. Ac. Sci., 4 (31) : 51-67.
- Marx, H., & R. F. Inger 1955. Notes on Snakes of the genus *Calamaria*. Fieldiana, Zool., 37 : 167-209.
- 松井孝爾, 1957. 奄美大島の毒蛇. 遺伝, 11 (12) : 56-58.
- , 1964. 屋久島産ヘビ類に関する二, 三の知見〔講演要旨〕. 爬虫類学雑誌, 2 (1) : 6-7.
- , 1969. 日本のヘビ. The Snake, 1 : 50-55.
- , 1971. 世界のヘビ, (1)日本のヘビ, 体制, 分類, 生態, 毒蛇. 動物と自然, 1 (7) : 13-18.
- , 1971. 世界のヘビ, (2)各論. 動物と自然, 1 (8) : 17-22.
- , 1977. ヘビの世界. 平凡社, 東京. 144p.
- 松本邦夫, 1949. 蛇鱗の形態的研究(1). 生物, 4 : 194-200.
- McDowell, S. B., 1961. Malnate's "Systematic division and evolution of the colubrid snake genus *Natrix*, with comment on the subfamily Natricinae" [Reviews and comments]. Copeia, 1961 : 502-506.
- Minton, S. A., Jr., H. G. Dowling & F. E. Russell, 1968. Poisonous snakes of the world. Department of the Navy Bureau of Medicine and Surgery, Washington, D: C. 212p.
- 美濃部熙, 1931. タカチホヘビの学名に就いて. 動雑, 43 : 459.
- 三島章義, 1963. 奄美の病害動物. Nature Study, 9 : 78-81.
- , 1964. ヒャン (*Calliophis japonicus*) の交尾, 産卵について〔講演要旨〕. 爬虫類学雑誌, 2 (1) : 6.
- , 1965. 奄美のヘビ. Nature Study, 11 : 14-19.
- , 1965. ヒャン *Calliophis japonicus* の外部形態特に斑紋について〔講演要旨〕. 爬虫類学雑誌, 1 (3) : 55.
- , 1966. 奄美群島産アカマタの食性に関する研究. 爬虫類学雑誌, 1 (4) : 75-81.
- , 1975. 不思議なヘビの世界. 掬水文庫, 東京. 238p.
- 森口一・内藤聡, 1979. 徳之島のアマミタカチホヘビ. 爬虫両棲類学雑誌, 8 (1) : 36.
- 武藤暁生・大谷勉, 1980. アマミタカチホヘビについての2, 3の知見. 両生爬虫類研究会誌, (16): 25-28.
- 永井亀彦, 1934. 本県にて分布上注目すべき動植物(4). 郷土博物時報, 1 (8) : 10-11. 鹿児島県.

- 中村健児, 1934. 蛇とその功罪. 京都大学理学部普及講座(11).
- , 1938. 盲蛇の血管系及び生殖系. 動雑, 50 : 192.
- , 1941. 盲蛇に関する研究(1-3). 台湾博物学会報, 31 : 299-305, 409-412.
- 波江元吉, 1897. 本邦産蛇類の学名に就て. 動雑, 9 : 337-340.
- , 1908. 台湾産毒蛇. 動雑, 20 : 192-194, 463-464.
- , 1909. 台湾産毒蛇. 動雑, 21 : 266-267.
- , 1914. 沖縄産盲蛇の産卵. 動雑, 26 : 448-449.
- , 1914. 再び盲蛇の卵に就て. 動雑, 26 : 482.
- , 1914. 盲蛇に就て名和所長より来信. 動雑, 36 : 559.
- 岡田弥一郎, 1964. 高良鉄夫著 琉球列島における陸棲蛇類の研究〔書評〕. 爬虫類学雑誌, 1 (1) : 8.
- ・高良鉄夫, 1958. 琉球産アオヘビの1新種. 日本生物地理学会会報, 20 (3) : 1-3.
- 大野正男, 1978. 日本産主要動物の種別文献目録(4), タカチホヘビとアマミタカチホヘビ. 東洋大学紀要教養課程篇(自然科学), (21) : 93-104.
- Oshima, M., 1910. An annotated list of Formosan snakes, with description of four new species and one new subspecies. Ann. Zool. Japan, 7 (3) : 185-207.
- , 1916. 台湾及び琉球産蛇類検索表. 台湾博物学会会報, 6 : 1-12.
- , 1920. 台湾及び琉球産毒蛇調査報文. 台湾総督府研究所報告, 8 (2) : 1-99, 16 pls.
- , 1944. 大東亜共栄圏毒蛇解説. 北隆館, 東京. 330p.
- 佐藤井岐雄・青田重忠, 1940. メクラヘビの1種 *Typhlops braminus* の内部形態特に盲腸及び輪尿管の特殊形態について. 台湾博物学会会報, 30 : 109-113.
- Slater, J. A., 1948. The incidence of poisonous snakes on Okinawa Shima (Ryukyu Islands). Copeia, 1948 : 136.
- Smith, M. A., 1943. Reptilia and Amphibia. III.—Serpentes. In the Fauna of British India, Ceylon and Burma, including the whole of the Indo Chinese sub-region. Taylor & Francis, London. 583p.
- Steindachner, F., 1914. Bericht über die von Hans Sauter auf Formosa gesammelten Schlangenarten. Denkschriften der kaiserlichen Akademie der Wissenschaften, (Mathematisch-Naturwissenschaftliche Klasse), Wien, 90 : 319-361.
- Stejneger, L., 1909. 琉球列島の陸蛇類. 動雑, 21 : 36-40.
- 高橋精一, 1922. 大日本毒蛇図集. 田淵石版印刷所, 台北.
- , 1930. 日本蛇類大観. 春陽堂, 東京. 165p.
- 高良鉄夫, 1943. 沖縄陸棲蛇類雑録. 鹿児島博物同志会報, 4 : 19-26.
- , 1952. サキシマアカマタ *Dinodon rufozonatum walli* Stejneger の食性に就いて. 応用動物学雑誌, 17 : 41-43.

- , 1953. アカマタ *Dinodon semicarinatum* (Cope) の食性について, 応用動物学雑誌, 18 : 83-86.
- , 1953. 琉球の毒ヘビ, 琉球大学普及叢書, 6 : 1-15.
- , 1955. 琉球における数種のヘビ類の分布, 琉球大学農家政学術報告, (2) : 80-93.
- , 1957. リウキウアオヘビとアマミアオヘビ, 動雑, 66 : 345-346.
- , 1957. 琉球産蛇類に関する新知見, 琉球大学農家政学部学術報告, (4) : 144-156, pls. 1-2.
- , 1958. 陸産毒ヘビ, 昆虫の採集と標本の作り方 : 29-31. 琉球大学普及叢書, 16.
- , 1958. 琉球産 *Elaphe* 属 (Ophidia, Colubridae) の 2 種について (予報), 琉球大学農家政工学部学術報告, 5 : 116-119.
- , 1962. 琉球列島における陸棲蛇類の研究, 琉球大学農家政工学部学術報告, 9 : 1-202.
- , 1965. 琉球の毒ヘビ, 守礼の光, 14-17.
- , 1969. 八重山群島 (琉球) 産ヘビに関する若干の知見, 爬虫両棲類学雑誌, 3 (2, 3) : 19-21.
- , 1978. 宮古島 (沖縄) 産サキシマバイカに関する若干の知見, 爬虫両棲類学雑誌, 7 (4) : 85-87.
- , 1978. 西表島 (沖縄) 産タカチホヘビ属の 1 種 (予報), 爬虫両棲類学雑誌, 7 (4) : 92-93.
- 上野俊一, 1973. 珍奇なヘビ“イワサキシゲカヘビ”, 国立科学博物館ニュース, 49 : 6.
- 植木修二, 1934. アマミクロヘビ, 郷土博物時報, 7 : 18.
- Wall, F., 1903. A prodromus of the snakes hitherto record from China, Japan, and the Loo Choo Islands ; with some notes. Proc. Zool. Soc. London, I : 84-102.
- , 1905. Notes on a collection of snakes from Japan and the Loo Choo Islands. Proc. Zool. Soc. London, 1905, 2 : 511-517.
- Werner, F., 1929. Übersicht der Gattungen und Arten der Schlangen aus der Familie Colubridae. III. Zool. Jahrb. Syst, 57, (12) : 1-196.
- 山口謹爾, 1919. 台湾産毒蛇に就て, 台湾博物学会会報, 8 (34) : 1-11.

カメ類 (Testudinata)

- 浅野直樹, 1974. 沖縄本島産リュウキュウヤマガメについて [講演要旨], 爬虫両棲類学雑誌, 5 (3) : 67.
- Gray, J. E., 1863. Observations on the box tortoises, with the description of three new Asiatic species. Proc. Zool. Soc. London, 1863 : 173-179.
- 原幸治・古屋真, 1980. セマルハコガメの繁殖 [講演要旨], 爬虫両棲類学雑誌, 8 (4) : 131.
- 黒岩恒, 1893. 球陽雜譚 (第四稿), 動雑, 5 : 279-281.
- , 1894. 八重山亀採獲紀事, 動雑, 6 : 296-298.
- Mao, S. H., 1971. Turtles of Taiwan. Commercial Press, Taiwan. 10 + 128p.
- 中村健児, 1934. 台湾産陸亀科 (Testudinidae). 台湾博物学会会報, 24 (130) : 32-39.

- (Nakamura, K.), 1934. On *Clemmys mutica* (Cantor) with special reference to its variation and distribution. Annot. Zool. Jap. 14 (4) : 425-435, pl. 21.
- , 1937. On chromosomes of some chelonians. (A preliminary note.) Japanese Jour. Genetics, 13 (5) : 240.
- Ozaki, Y., 1936. Two new trematodes from tortoise *Geoemyda spengleri* (Gmelin). Jour. Sci. Hiroshima Univ., B-1, 6 : 81-90.
- 坂口総一郎, 1924. ヤヘヤマガメに就て, 動雑, 36 : 154.
- , 1929. 沖縄島産カメ類に就て, Lansania, 1 : 129-130.
- Siebenrock, K. F., 1907. Über einige, zum Teil siltene Schildkröten aus Südchina. Sitzungsberichte der kaiserlichen Akademie der Wissenschaften Wien, Mathematisch-naturwissenschaftliche Klasse, 116 : 1739-1776.
- , 1909. Synopsis der tezenten Schildkröten, mit Berücksichtigung der in historischer Zeit ausgestorbenen Arten. Zool. Jahrb. Syst., 10 (3) : 427-618.
- , 1909. *Clemmys mutica* Cantor von der Insel Formosa. Annalen des k. k. naturhistorischen Hofmuseums, Wien, 23 : 312-317.
- 穴戸一郎, 1899. 日本産亀鼈類, 動雑, 11 (130) : 257-278, pls. 15-16.
- 柴田保彦, 1981. 大阪四天王寺の「亀の池」, Nature Study, 27 (9) : 101-104.
- Smith, M. A., 1931. Reptilia and Amphibia. I.—Sauria. In the Fauna of British India, including Ceylon and Burma. Taylor & Francis, London. 185p.
- 高良鉄夫, 1965. セマルハコガメについて, 琉球文化財調査報告書, p.105-109.
- , 1979. セマルハコガメ, 環境庁第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(両生類・は虫類)全国版1978 : 109-111.
- , 1979, リュウキュウヤマガメ, 環境庁第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(両生類・は虫類)全国版1978 : 112-114.
- 高島春雄, 1932. 日本産亀鼈名集, 台湾博物学会会報, 22 : 152-163.
- , 1935. 本朝亀鼈概説, 学芸, 12 : 117-133.

ハブ類 (*Trimeresurus*)

- 阿部康男, 1959. ハブ被害対策のための一指針, ハブ研究会報告集, 1 : 45-46.
- ・三島章義, 1961. ハブの身体計測値より見た雌雄の特徴並びに食性について(第1報), 衛生動物, 12 : 135.
- ・森大三, 1960. ハブ及びハブ咬傷の医動物学的研究, ハブ咬傷発生の気象条件について, 衛生動物, 11 : 62-63.
- ・田中寛・三島章義・小野継男, 1965. ハブの自意的行動の解析, 特に照度との関係について, 衛生動物, 16 : 142.
- ・———・———・———, 1965. ハブならびにハブ咬症に関する研究(Tr.-3).

- ハブの行動解析, 特に照度との関係について. 衛生動物, 16 : 177-183.
- ・———・長野耕二, 1966. ハブ咬傷発生要因に関する研究. —ハブの活動形態特に夜間における行動. 熱帯医学会報, 7 : 71.
- ・———・———, 1966. ハブの夜間活動性に関する研究. 衛生動物, 17 : 120.
- ・———・———, 1966. ハブの夜間活動性に関する研究. 鹿児島大学医学雑誌, 18 : 253-264.
- 新城安哲, 1981. 沖縄県における昭和55年のハブ咬症〔講演要旨〕. 爬虫両棲類学雑誌, 9 (2) : 65.
- ・照屋寛善, 1980. 沖縄県における1979年のハブ咬症について. 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(Ⅲ) : 37-49.
- ・———, 1981. 沖縄県における昭和55年のハブ咬症について. 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(Ⅳ) : 25-41.
- ・———・吉田朝啓, 1980. ハブ咬症後遺症調査. 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(Ⅲ) : 50-57.
- ・吉田朝啓・宮城重二・中村哲・照屋寛善, 1981. ハブ咬症後遺症調査. 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(Ⅳ) : 43-52.
- Brattstrom, B. H., 1964. Evolution of the pit vipers. Trans. San. Diego Soc. nat. Hist., 13 : 185-267.
- Döderlein, L., 1881. Die Liu-Kiu Insel Amami Oshima. Mitth. Deutsch Ost-Asiens Ges., 3 (1880-1884) : 140-156.
- Fischer, J.G., 1888. Herpetologische Mitteilungen. III. Über zwei von der Liukiu-Insel Okinawa stammende Schlangen. Bericht für das Jahr 1887, Naturhistorisches Museum zu Hamburg, 5 : 18-22.
- Fukada, H., 1964. Biological studies on the snakes, XI, Eggs and young of *Trimeresurus okinavensis* Boulenger. Bull. Kyoto Gakugei Univ., Ser. B, 24 : 7-10.
- (深田祝), 1975. ハブの高温致死温度測定を試み. 爬虫両棲類学雑誌, 6 (2) : 53.
- , 1978. ハブの体温と脈拍数と行動. The Snake, 10 : 17-20.
- ・木原大・林良博, 1979. 心電計によるハブ誘引・忌避剤の判定. The Snake, 11 : 16-19.
- Gloyd, H. K., 1955. A new crotalid snake from Kume Shima, Riu Kiu Islands. Bull. Chicago Ac. Sci., 10 : 123-134.
- Groves, F., 1959. Notes on *Trimeresurus f. flavoviridis*. Herpetologica, 15 : 182.
- 半沢正四郎, 1933. 琉球群島に於ける飯匙倩の奇異なる分布と同群島地史との関係. 地質雑, 40 : 323-325.
- , 1935. 琉球群島に於けるハブ(飯匙倩)の奇異なる分布と同群島地史との関係. 日本生物地理学会会報, 5 (3) : 173-198.

- (Hanzawa, S.), 1935. Topography and Geology of the Riukiu Islands. Sci. Rep. Tohoku Imp. Univ., 17 : 1-61. (2),
- 波多江信広, 1959. 奄美大島におけるハブの分布について. 鹿児島大学はぶ研究会報告集, 1 : 44-45.
- 林良博・川村善治・木原大・田中寛, 1959. ハブトラップの改良実験. ハブ駆除対策調査研究報告書 : 6-8.
- ・木原大・田中寛, 1978. クロルデンのハブに対する忌避および殺蛇効果について. The Snake, 10 : 56-59.
- ・———・———・昇善久・山下秀利・南竹一郎, 1979. 徳之島におけるハブの誘引・捕獲実験. The Snake, 11 : 45-53.
- ・昇善久, 1979. 奄美群島の住居におけるネズミの生息状況について. The Snake, 11 : 63-66.
- ・———・川口悦子・田中寛, 1978. 奄美大島・瀬戸内町におけるハブ生息実態調査. The Snake, 10 : 59-64.
- ・———・田中寛, 1978. 電気柵によるハブ侵入防止実験. The Snake, 10 : 42-46.
- ・———・和田芳武・田中寛, 1979. 電気柵によるハブの侵入防止法について. 11 : 58-62.
- ・田中寛, 1976. ハブの頭蓋標本を用いた年齢推定について. 衛生動物, 27 : 16.
- ・———, 1979. ハブの個体数の調査方法について. 衛生動物, 11 : 72-77.
- ・———・田中弘美, 1979. 徳之島におけるハブの全長および性構成について. 衛生動物, 11 : 67-72.
- Hilgendorf, F., 1880. Bemerkungen über die von ihm in Japan Gesammelten Amphibien nebst Beschreibung zweier neuer Schlangenarten. Sitzungsberichte der Gesellschaft naturforschender Freunde zu Berlin, (8) : 111-121.
- 池田研二・岩井矩成・和田芳武・林良博, 1979. ハブ行動追跡のための電波探知技術開発. The Snake, 11 : 29-31.
- ・大島正光, 1971. ハブの行動を追跡するための無線探知システム. The Snake, 3 : 14-19.
- ・和田芳武・林良博・岩井矩成・木原大・昇善久・山下秀利, 1978. 電波探知方式によるハブの行動の追跡. The Snake, 10 : 26-39.
- 池原貞雄・安部琢哉・赤嶺博行, 1980. ハブ生息地実態調査. 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(III) : 5-36.
- ・———・宮城康一・千木良範, 1979. 沖縄県下におけるハブ, *Trimeresurus flavoviridis flavoviridis* (Hallowell, 1860), 咬傷の分布. 第10回沖縄県公衆衛生学会記録集, 136-141.
- ・———・———・———, 1979. ハブ生息地実態調査. 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(II) : 1-81.

- ・———・城間侑, 1978. ハブ生息地実態調査, 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書: 1-56.
- ・———・大神一宏・島村賢正, 1981. ハブ生息地実態調査, 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(IV): 1-23.
- 今村健二郎・若松道範・橋口俊幸ほか, 1957. 奄美大島群島に於けるハブ咬傷の実態に就て, 鹿児島医学雑誌, 30: 207-212.
- ・———, 1959. ハブ咬傷に就いて, 鹿児島大学はぶ研究会報告集, 1: 39-43.
- 石井明・林良博, 1978. ヘビアメーバーを応用した飼育場内でのハブ駆除の試験, The Snake, 10: 16-17.
- ・川口悦子・林良博, 1979. ヘビアメーバーを用いたハブ駆除に関する研究, The Snake, 11: 25-27.
- ・昇善久・小野継男・沢井芳男, 1971. 奄美大島産の数種の蛇に対する *Entamoeba invadens* の実験的経口感染について, The Snake, 3: 30-34.
- Ishizaka, T., 1907. Studien über das Habuschlangengift. Zeitschrift für Experimentelle Pathologie und Therapie, Berlin, 4: 88-117.
- 鹿児島県, 1943. はぶ, 鹿児島県史, 4: 862-863.
- 香村昂男, 1975. ハブ(*Trimeresurus Flavoviridis*)幼蛇の実験室内飼育(第一報) 3年間の飼育状況について, 沖縄県公害衛生研究所報, (9): 127-138.
- ・具志堅清徳, 1972. ヒメハブの幼蛇の飼育について, The Snake 4 (2): 118-119.
- ・島村賢正, 1980. ハブ(*Trimeresurus flavoviridis*)の実験室内飼育(第二報)一7年間の飼育状況について, 沖縄県公害衛生研究所報, (14): 59-73.
- 鹿島親俊, 1957. 猛毒をもつハブが森林経営に及ぼす影響について, 森林防疫ニュース, 6: 149-153.
- 勝連盛輝・新城安哲・香村昂男・吉田朝啓, 1976. 水納島におけるハブ防除に関する研究(2), ハブの分布について(講演要旨), 爬虫両棲類学雑誌, 6 (4): 118-119.
- ・桑江なおみ・中田福市, 1979. 塩化カリウムの殺蛇効果, 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書 (II): 164-168.
- ・竹田弘・吉田朝啓, 1979. 水納島ハブ駆除実験, 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(II): 136-147.
- ・吉田朝啓, 1980. 水納島ハブ駆除実験, 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(III): 59-63.
- ・———, 1981. 水納島ハブ駆除実験, 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(IV): 67-73.
- 木原大・林良博・和田芳武・山下秀利・昇善久, 1979. ハブに対する誘引効果の判定法, II. 野外飼育場での効果判定法, The Snake, 11: 54-58.

- ・宮下衛・脇阪一郎・林良博・田中寛・積田享, 1978. ハブ誘引剤の検定方法の研究. The Snake, 10 : 6-10.
- ・山下秀利, 1978. 爬虫類に対する各種農薬の殺滅効果について. The Snake, 10 : 10-15.
- ・———・林良博・和田芳武・田中寛, 1979. ハブに対する誘引効果の判定法の研究, I. 室内での効果判定法. The Snake, 11 : 11-15.
- 岸田久吉, 1931. 渡瀬先生とマングース輸入. 動雑, 43 : 70-78.
- Kitajima, T., 1908. On "Habu" venom and its serum therapy. Jour. Sci. Philippine, 3 : 151-164.
- 木場一夫, 1960. 奄美群島のハブの生態, 特に食物. 動雑, 69 : 76.
- , 1961. 奄美群島におけるハブ属の生態. 熱帯医学会報, 2 : 11-12.
- , 1961. 奄美群島におけるハブ及びヒメハブの食物について. 熊本大学教育学部紀要, 9 : 220-229.
- , 1962. 奄美群島及びトカラ群島産ハブ属に関する研究. 日本学術振興会, 東京, 119p.
- , 1963. 奄美群島におけるハブ及びヒメハブの食物について(追記, I). 熊本大学教育学部紀要, (11) オ1分冊(自然科学) : 35-40.
- , 1963. ハブおよびヒメハブの形態的・生態的特性. 動雑, 72 : 369-370.
- , 1964. ハブの生態. 衛生動物, 15 : 95.
- , 1968. 奄美群島におけるハブ及びヒメハブの食物について(追記, II). 熊本大学教育学部紀要, (16) オ1分冊(自然科学) : 69-75.
- , 1971. ハブの生物誌. The Snake, 3 : 75-96.
- , 1979. 奄美大島産ハブの食物としての蛇類. 銀杏学園紀要, (4) : 9-12, pl. 1.
- ・菊川大東, 1968. トカラハブについて[講演要旨]. 爬虫両棲類学雑誌, 2 (4) : 53.
- ・———, 1969. トカラ列島産トカラハブの分類について. 日本生物地理学会会報, 25 (1) : 1-8.
- ・———, 1969. トカラ列島産トカラハブの学名について. 熊本生物研究誌, 4 : 1-2.
- ・———, 1971. トカラハブの分類に関する研究. The Snake, 3 : 39-52.
- ・———, 1976. サキシマハブの形態について. 銀杏学園紀要, (1) : 19-32.
- ・森本弘毅・中本英一・吉崎潔・小野継男・田中顕一, 1970. 奄美大島産ハブの卵及び産卵について. The Snake, 2 : 22-31.
- ・中本英一・小野継男・田中顕一・馬場敬次, 1967. 奄美群島におけるハブの産卵及びふ化について. 熊本大学教育学部紀要, (15) 第1分冊(自然科学) : 29-37.
- ・———・———・———, 1967. ハブの産卵及びふ化について. 日本熱帯医学雑誌, 8 (1) : 35.
- ・———・植村武恭, 1964. ハブの産卵及びふ化について(予報). 爬虫類学雑誌, 1 : 26.
- ・田中顕一, 1968. ハブの卵と幼蛇について[講演要旨]. 爬虫両棲類学雑誌, 2 (4) : 49.

- ・———, 1970. ヒメハブの卵について〔講演要旨〕. 爬虫両棲類学雑誌, 3 (4) : 30-31.
- ・———, 1973. 奄美群島産ヒメハブの分類ノート〔講演要旨〕. 爬虫両棲類学雑誌, 5 (2) : 30.
- ・———・中本英一・森本弘毅, 1970. トカラハブの卵・産卵及びふ化について.
The Snake, 2 : 32-38.
- ・———・吉崎潔・中本英一, 1970. 奄美大島産ヒメハブの卵及びふ化について.
The Snake, 2 : 111-121.
- 小玉正任, 1974. 又ハブ. 会計と監査, 25 (8) : 52-53.
- , 1975. 毒蛇ハブ. 日本広報センター, 東京, 239p.
- 黒岩恒, 1892. 球陽雜譚. 動雑, 4 : 486-496.
- , 1893. 球陽雜譚(第三稿). 動雑, 5 : 123-126.
- Landois, H., 1888. *Trimeresurus Riukinensis* Hilgendorf. 16ter Jahresbercht.
des westfalischen Provinzial-Vereins für Wissenschaft und Kunst, Munster : 45.
- 前田博, 1978. ハブ咬症と気象因子との関連について. The Snake, 10 : 85-87.
- Martin, Walter B., 1946. Clinical experience with snake bits on Okinawa.
Bull. U. S. Army. med. Dept. 5 : 79-82.
- 正木任, 1939. 八重山群島におけるハブの出現期. 天気と気候, 6 : 240-241.
- Maslin, T. P., 1942. Evidence for the separation of the crotalid genera *Trimeresurus* and
Bothrops, with a key to the genus *Trimeresurus*. Copeia, 1942 : 18-24.
- 松井孝爾, 1956. 奄美大島とハブ. 衛生害虫, 10 : 43-44.
- ・今井敏夫・山崎恵子, 1968. ヒメハブの繁殖について〔講演要旨〕. 爬虫両棲類学雑誌,
2 (4) : 48-49.
- 水上惟文, 1977. 脊椎骨によるハブの年齢推定. 動雑, 86 : 82-86.
- , 1977. 温度変化とヒメハブの活動. 爬虫両棲類学雑誌, 7 (1) : 4-9.
- ・藤井充昭・田中満, 1980. 奄美大島におけるハブ捕獲数の周期的変動(第二報). 爬虫両
棲類学雑誌, 8 (3) : 95-99.
- ・中本英一, 1980. ハブの孵化および孵化後の発育について(予報). The Snake,
12 : 11-14.
- ・———・松下仁六・鳥入佳輝・武原清満・福島英雄, 1980. 奄美大島におけるハブの
体長計測. The Snake, 12 : 8-10.
- ・小野継男, 1976. 奄美大島におけるハブの体長組成(予報). 爬虫両棲類学雑誌, 6 (3)
: 61-63.
- ・———・中本英一, 1978. 奄美大島におけるハブ捕獲数の周期的変動. 爬虫両棲類学
雑誌, 7 (4) : 81-84.
- 三島章義, 1961. ハブとその被害及び対策. 鹿児島県衛生部, 名瀬保健所 : 1-41.
- , 1962. ハブ(*Trimersurus flavoviridis*)の繁殖について(第二報). 熱帯医学会報, 3 : 26.
- , 1963. ハブの生態について. 熱帯医学会報, 4 : 46.
- , 1965. ハブの産卵・孵化並びに奄美大島のハブ属の食性について. 爬虫類学雑誌,

- 1 (3) : 55-56.
- , 1966. ハブに関する研究 I. 奄美群島産ハブの食性について. 衛生動物, 17 : 1-21.
- , 1966. ハブに関する研究 II. 実験的給餌によるハブの食性の研究. 熱帯医学会報, 7 (2) : 8-17.
- , 1966. 奄美群島産ヒメハブの食性に関する研究. 爬虫類学雑誌, 1 (4) : 67-74.
- , 1967. ハブに関する研究 III. ハブの夜間活動性について. 衛生動物, 18 : 27-31.
- , 1968. ハブの日周行動の観察〔講演要旨〕. 爬虫類学雑誌, 2 (4) : 46.
- , 1980. 徳之島で採集された大型ハブとシロハブ. 爬虫両棲類学雑誌, 8 (4) : 141.
- , 1981. ブロック塀のハブ防除効果について. 爬虫両棲類学雑誌, 9 (2) : 65-66.
- ・中本英一・米丸操・沢井芳男・山本久, 1978. ハブ駆除に関する研究 I, 捕獲成績からみた奄美群島与路島のハブ生息状況(1). The Snake, 10 : 151-164.
- ・———・———・———・———, 1979. ハブ駆除に関する研究 II, 捕獲成績からみた奄美群島与路島のハブ生息状況(2). The Snake, 11 : 134-142.
- ・沢井芳男, 1978. 徳之島町手々・轟木両部落のハブ棲息状況. 爬虫両棲類学雑誌, 7 (4) : 108-109.
- ・———, 1978. ハブ駆除対策予備調査. The Snake, 10 : 88-89.
- ・———, 1979. 徳之島町手々・轟木両部落のハブ生息状況. The Snake, 11 : 113-116.
- 三浦守治, 1896. 飯匙蛇毒の調査. 動雑, 8 : 182-189.
- 宮下衛・脇阪一郎, 1979. 徳之島における居住環境とハブの屋敷内への侵入との関係について. The Snake, 11 : 103-108.
- ・———, 1979. 徳之島, 花時名部落におけるハブの出現とその背景について. The Snake, 11 : 109-112.
- 森田忠義・福島英雄, 1967. ハブの生態に関する研究(第2報), 産卵・孵化について. 日本熱帯医学雑誌, 8 : 35-36.
- 中本英一, 1978. ハブ捕り物語. 三交社, 東京, 214p.
- 中村哲・平良一彦・宮城重二・知花宏光・竹島賢・照屋寛善, 1981. 伊江村におけるハブ咬症後遺症調査. 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(IV) : 53-61.
- 西村昌彦, 1981. 除去法によるハブ駆除—駆除の能率を上げるためには—. 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(IV) : 63-65.
- Okada, Y., 1932. Notes on the Amphibia and Reptilia of Kotosho (Botel Tobago). Bull. Biogeog. Soc. Japan 3 (1) : 13-23.
- , 1933. *Trimeresurus tokarensis* and *Laticauda semifasciata* [review]. Copeia, 4 : 227.
- , 1964. ハブ(恐るべき毒蛇の全貌), 高良鉄夫著〔書評〕. 爬虫類学雑誌, 1 (1) : 8.
- 大島正満, 1915. 飯匙倩蛇. 台湾博物学会会報, 5 (22) : 86.
- , 1915. 沖縄のハブ. 台湾博物学会会報, 5 (22) : 86-87.
- 崎原盛造, 1973. 沖縄におけるハブ対策(特集秋ぐちの保健). 保健の科学, 15 (9) : 574-576.
- 佐々学・田中寛ほか, 1972. 奄美大島におけるハブの生態に関する研究. 熱帯, 6 (3) : 25-36.

- ・———ほか, 1972. 奄美大島におけるハブの生態に関する研究, 熱帯, 7 (2) : 87-96.
- 沢井芳男, 1957. 毒蛇ハブになやむ奄美大島, 東京医事新誌, 74 : 641-642.
- , 1958. 人と大島とハブと, 日本医事新報, 1793 : 57-60.
- , 1959. 沖縄におけるハブ蛇被害対策, 東京医事新誌, 76 : 86.
- , 1959. はぶに挑む, 東京医事新誌, 76 : 709-715.
- , 1960. ハブ毒と死, 東京医事新誌, 77 : 501-505.
- , 1972. 免疫と血清, ハブ毒との戦い, 日本放送出版協会, 東京, 201p.
- , 1972. ハブ咬症とその対策(特集・おきなわ), 保健の科学, 14 (6) : 350-354.
- , 1973. アジアの毒蛇咬症, The Snake, 5 (1-2) : 29-75
- ・福山民夫・川村善治ほか, 1972. 1970年における奄美大島及び沖縄のハブ咬症の現況について, The Snake, 4 : 89-95
- ・川村善治, 1980. 1976年の奄美大島におけるハブ咬症の現況について, The Snake, 12 : 1-7.
- ・———・福山民夫, 1968. 1965年より1967年にわたる奄美大島及び沖縄におけるハブ咬症の現況について, 熱帯, 3 : 56-70.
- ・———・———ほか, 1970. 1968年における奄美大島及び沖縄のハブ咬症の現況について, The Snake, 2 : 98-105.
- ・———・———ほか, 1971. 1969年における奄美大島及び沖縄のハブ咬症の現況について, The Snake, 3 : 1-8.
- ・———・———ほか, 1972. 1970年における奄美大島及び沖縄のハブ咬症の現況について, The Snake, 4 : 89-95.
- ・———・———ほか, 1974. 1971年における奄美大島及び沖縄のハブ咬症の現況について, The Snake, 6 : 76-82.
- ・———・———ほか, 1975. 1972年の奄美大島におけるハブ咬症の現況について, The Snake, 7 : 68-72.
- ・———・田中寛, 1964. 1963年の奄美大島におけるハブ咬症の調査成績について, Minophagen med. Rev., 9 : 182-185.
- ・———・館野功ほか, 1965. 1963年の奄美大島におけるハブ咬症患者の現況について, 熱帯医学会報, 6 : 66.
- 城間 侔・勝連盛輝・木下靖之・笹岡正純, 1980. 殺蛇剤(KCl)を用いたハブ駆除—野外実験I—. 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(III) : 67-74.
- ・木下靖之, 1980. 防蛇壁の開発, 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(III) : 124-128.
- ・三井興治・笹岡正純, 1981. 水納島のリュウキュウジャコウネズミ, 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(IV) : 75-76.
- ・笹岡正純, 1981. ハブの活動性についての研究(予報)—その出現を中心に—, 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(IV) : 77-97.

- ・———, 1981. 防蛇壁の開発II—垂直壁とかえしの効果—, 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(Ⅳ) : 99-108.
- Stejneger, L., 1940. The generic concept. Copeia, 4 : 217-218.
- Suzuki, T., 1921. Experimentelle "Habu"—Gift—Nephritis. Mitteilungen aus dem pathologischen Institut zu Sendai, I: 225-242.
- , 1921. Experimentelle Studien über die chronische Nephritis, welche aus der akuten hervorgeht. (Zweiter Bericht über Habu—Gift—Nephritis.) Mitteilungen aus dem pathologischen Institut zu Sendai, 1 : 243-292.
- 高良鉄夫, 1954. 戦後沖縄におけるハブの増殖と被害. 応用動物学雑誌, 18 (4) : 187-192.
- , 1960. 琉球列島におけるハブ属の分布. 熱帯医学研究会抄録集, (2) : 10.
- , 1963. ハブ—恐るべき毒へびの全貌. 光有社, 沖縄. 193p.
- , 1965. 琉球におけるハブ属の習性. 植物防疫, 19 (1) : 17-20.
- , 1966. 琉球列島におけるハブ属の分布. 南と北, 39 : 41-50.
- , 1969. 毒蛇ハブは私の親友. 月刊ペン, 1月号, 236-245.
- , 1972. 沖縄のハブ(沖縄復帰記念特集). 森林防疫, 21-7 (244) : 16-19.
- , 1973. ハブ=反鼻蛇. 琉球文教図書, 沖縄. 231p.
- , 1974. 琉球のハブの生態と利用. 新栄養, 65 : 90-99.
- , 1975. ハブの生態. 日本の旅路(ふるさと物語), 14 : 112-113.
- 田中寛, 1973. ハブの行動と生態. The Snake, 5 : 116-132.
- ・林良博・和田芳武, 1979. 奄美群島におけるハブ咬症発生に関連する要因の疫学的研究. The Snake, 11 : 79-83.
- ・三島章義, 1967. はぶの季節的消長, 日周活動と咬症の関係について. 衛生動物, 18 : 156.
- ・———・小野継男, 1967. ハブ活動の消長と咬症の関係. 衛生動物, 18 : 113-118.
- ・和田芳武ほか, 1971. ハブの生息密度測定法の研究. The Snake, 3 : 9-13.
- ・———ほか, 1971. ハブの牙の攻撃エネルギー. The Snake, 3 : 63-64.
- 鳥羽通久・堺淳・森口一・沢井芳男・高橋寛, 1980. 徳之島産ハブの外部形態について. 爬虫両棲類学雑誌, 8 (4) : 140-141.
- 照屋寛善, 1959. 琉球列島におけるハブ咬症の疫学的研究. 衛生動物, 10 : 115-127.
- , 1961. 琉球におけるハブ咬症の疫学. 熱帯医学会報, 2 : 12.
- , 1962. 琉球におけるハブ咬症の疫学, 第2報(気象とハブ咬症との相関関係). 熱帯医学会報, 3 : 25.
- ・新城安哲・桑江なおみ, 1979. 沖縄県における1978年のハブ咬症について. 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(Ⅱ) : 83-106.
- ・———・———, 1979. サキシマハブ咬症後遺症調査. 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(Ⅱ) : 107-116.

- ・———・大浜なおみ・外間善次, 1978. 沖縄県における昭和52年のハブ咬症について.
沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書 : 57-76.
- 和田芳武, 1972. 極超短波(UHF)を用いたハブの行動追跡, 1971年の成績. *The Snake*, 4 : 44-50.
- ・池田研二・木原大・林良博・岩井矩成・昇善久・山下秀利, 1979. 電波探知方式でみたハブの行動. *The Snake*, 11 : 32-36.
- ・木原大・林良博・田中寛, 1979. 屋敷内ハブ咬症発生から見たハブ生息密度の分布推定. *The Snake*, 11 : 37-43.
- ・田中寛・小熊譲・佐々学・池田研二ほか, 1971. 極超短波(UHF)を用いたハブの行動追跡. *The Snake*, 3 : 20-23.
- 渡瀬庄三郎, 1911. 渡名喜島の「マングース」繁殖す. 動雑, 23 : 109-110.
- Werner, F., 1909. Über neue oder seltene Reptilien des naturhistorischen Museums in Hamburg. I. Schlangen. Mitteilungen aus dem naturhistorischen Museum in Hamburg, 26 : 205-247.
- , 1922. Synopsis der Schlangenfamilien der Amblycephalidae und Viperidae, nebst Übersicht über die kleineren Familien und die Colubriden der Achrocordiengruppe. Auf Grund des Boulengerischen Schlangenkatalogs (1893-1896). Archiv für Naturgeschichte, Berlin, 88 A (8) : 185-244.
- 脇阪一郎・宮下衛・安藤哲男・高野敦子, 1978. 奄美群島におけるハブ咬傷の疫学像. *The Snake*, 10 : 66-75.
- ・———・———・———, 1978. 奄美大島と徳之島におけるハブ咬傷疫学像の比較. *The Snake*, 10 : 76-85.
- ・———・———・———, 1979. 奄美群島における「はぶ」咬傷の疫学的研究. *The Snake*, 11 : 83-102.
- 屋代弘孝, 1930. 飯匙蛇 *Trimeresurus flavoviridis* Hallowell の卵並に同属の分布に就て. 鹿児島博物同志会報, 2 : 98-101.
- 吉田朝啓, 1977. ハブと人間. 琉球新報社, 沖縄, 270p.
- , 1979. 改訂ハブと人間. 琉球新報社, 沖縄, 271p.
- , 1980. 試論, ハブと人間の住み分けのための方法論. 沖縄県公害衛生研究所報, (14) : 43-58.
- ・新城安哲, 1979. 防蛇壁予備実験. 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(II) : 179-181.
- ・香村昂男・新城安哲, 1979. ハブの産卵空洞の試作と産卵予備実験. 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(II) : 169-178.
- ・———・———, 1980. ハブの繁殖防止に関する研究. 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書(III) : 88-123.
- ・———・———・勝連盛輝, 1976. 水納島ハブ駆除に関する研究(1) 駆除のための原理と予備実験の結果について〔講演要旨〕. 爬虫両棲類学雑誌, 6 (4) : 118.

———・勝連盛輝・新城安哲・香村昂男・大浜なおみ, 1977. 水納島におけるハブ駆除に関する研究(3)〔講演要旨〕. 爬虫両棲類学雑誌, 7 (2) : 44.

———・———・大浜なおみ, 1976. ハブの防除に関する研究, 2) ハブを選択的に除去する方法について. 沖縄県公害衛生研究所報, (10) : 115-122.

———・———・———・新城安哲・香村昂男・竹田弘・千川裕・赤星一成, 1978.

ハブ駆除野外実験. 沖縄特殊有害動物駆除対策基本調査報告書 : 95-149.

四元虎則, 1959. 奄美大島に於けるイタチの放獣. 島獣集報, 17 : 156-158.